

雨水処理設備等（雨水移送系統）に係る確認事項の整理について

2019年11月14日



東京電力ホールディングス株式会社

1. 内容確認事項 検査の確認項目（当社）について



実施計画記載の確認事項及び当社で行う確認事項を以下に示す。

雨水回収タンク（H6（I），J2，J3，B）

確認事項	確認項目	確認内容	判定基準	具体的な確認方法	関連実施計画
構造強度・耐震性	材料確認	使用材料を材料証明書により確認する。	実施計画に記載の材料が使用されていること。	実施計画に記載の通りの材料であることを図面および材料証明書にて確認する。	2.36.2.1.2(5)
	寸法確認	主要寸法（板厚，内径，高さ）を確認する。	実施計画の記載とおりであること。	図面，寸法測定記録により確認する。	別冊14 II 1.1(1) 別冊14 II 1.1(2) 別冊14 II 1.1(3)
	外観確認	タンク本体（塗装状態含む）の外観を確認する。	有意な欠陥がないこと。	目視にて有意な欠陥がないことを確認する。	
	据付確認	組立状態及び据付状態を確認する。	組立状態及び据付状態に異常がないこと。	組立状態及び据付状態に異常がないことを目視にて確認する。 耐圧・漏えい検査で漏えい確認できないフランジ部については適切に締め付けられていることを確認する。	
	耐圧・漏えい確認	設計・建設規格に基づき耐圧・漏えい試験を行う。	各部からの有意な漏えいおよび水位の低下がないこと。	トップアングルより50mm下部以内の水位まで水張りし，10分以上保持した後に目視にて確認する。 H6（I），J2，J3タンクの底板については耐圧代替検査（局部漏えい検査及び磁粉探傷試験）にて確認する。 Bタンクの底板については耐圧代替検査（局部漏えい検査及び超音波探傷試験）にて確認する。	別冊14 III 1

赤字：当社が自主的に実施している確認項目

【補足】

添付資料－5表－2の確認事項の確認。

タンク底板の耐圧・漏えいについては水張りの耐圧で確認できないことから、耐圧代替検査にて確認する。

H6（I），J2，J3：局部漏えい検査及び磁粉探傷試験

B：局部漏えい検査及び超音波探傷試験

1. 内容確認事項 検査の確認項目（当社）について



実施計画記載の確認事項及び当社で行う確認事項を以下に示す。

雨水回収タンク堰

確認事項	確認項目	確認内容	判定基準	具体的な確認方法	関連実施計画
構造強度 ・耐震性	寸法確認	基礎外周堰の高さを確認する。	実施計画の記載とおりにあること。	寸法測定記録により実施計画の記載とおりにあることを確認する。	添付資料－5 表－1 1 別表－1
	据付確認	タンク基礎の不陸について確認する。	異常な不陸がないこと。	タンク基礎仕上がり面のレベル測量記録により、異常な不陸がないことを確認する。 (設計高さに対して±30mm以内)	参考資料－3 1. 4タンク基礎の不陸
	外観確認	基礎外周堰の外観を確認する。	有意な欠陥がないこと。	目視により有意な欠陥がないことを確認する。	
	地盤支持力 確認	支持力試験にてタンク基礎の地盤支持力を確認する。	必要な支持力を有していること。	キャスポル（簡易支持力測定器）より得られる粘着力を用いて基礎の安定計算を行い、地盤が必要な支持力を有していることを確認する。	参考資料－3 1. 3タンク基礎の支持力

【補足】

添付資料－5 表－1 1の確認事項の確認。

1. 内容確認事項 検査の確認項目（当社）について



実施計画記載の確認事項及び当社で行う確認事項を以下に示す。

集水ピット抜出ポンプ

雨水回収タンク移送ポンプ

中継タンク直送ポンプ

確認事項	確認項目	確認内容	判定基準	具体的な確認方法	関連実施計画
構造強度・耐震性	外観確認	各部の外観を確認する。	有意な欠陥がないこと。	目視にて有意な欠陥がないことを確認する。	
	据付確認	機器の据付状態について確認する。	施工図等の通り施工・据付されていること。	目視にて施工図等の通り施工・据付されていることを確認する。	
	耐圧・漏えい確認	運転圧力で耐圧部分からの漏えいの有無を確認する。	耐圧部から漏えいがないこと。	運転時に漏えいがないことを目視確認する。	
性能	運転性能確認	通常運転時に性能確認を行う。	実施計画に記載された容量を満足すること。	実施計画に記載された容量を満足することをポンプ試験成績書にて確認する。	2.36.2.1.2(1) 2.36.2.1.1(2) 2.36.2.1.1(4)
			異音、異臭、異常振動等がないこと。	運転時に異音、異臭、異常振動等がないことを確認する。	

※ 1：タンク内部に設置されているものは、耐圧・漏えい及び運転性能確認は可能な範囲で実施する。

※ 2：集水ピット内部に設置されており、耐圧・漏えい及び運転性能確認は可能な範囲で実施する。

※ 3：雨水処理設備等に関わる主要な確認事項を確認するため、本施設の処理対象となる堰内雨水を用いた通水試験を実施した上で、使用前検査を受検する。

赤字：当社が自主的に実施している確認項目

【補足】

添付資料－5 表－4の確認事項の確認に加え、運転性能の確認として実施計画に記載された容量を満足することを確認する。

耐圧漏えい確認についてはポンプ運転による運転性能確認時に確認する。（異音、異臭、異常振動等がないこととともに漏えいがないことも確認する。）ただし、集水ピット抜出ポンプの漏えい確認については集水ピット内部に設置されている水中ポンプで漏えい確認ができないので実施しない。（漏えい以外は確認する）

雨水移送系統の運転性能確認は使用前検査 1 号検査合格後に堰内雨水を用いて実施する。

1. 内容確認事項 検査の確認項目（当社）について

実施計画記載の確認事項及び当社で行う確認事項を以下に示す。

鋼管

確認事項	確認項目	確認内容	判定基準	具体的な確認方法	関連実施計画
構造強度・耐震性	材料確認	実施計画に記載した主な材料について、材料証明書または納品書により確認する。	実施計画の記載とおりであること。	実施計画に記載の通りの材料であることを図面および材料証明書にて確認する。	2.36.2.1 表2.36.1
	寸法確認	実施計画に記載した主要寸法について、材料証明書または納品書により確認する。	実施計画の記載とおりであること。	実施計画に記載の通りの寸法であることを図面および材料証明書にて確認する。	2.36.2.1 表2.36.1
	外観確認	各部の外観について、立会いまたは記録により確認する。	有意な欠陥がないこと。	目視にて有意な欠陥がないことを確認する。	
	据付確認	機器が図面のとおりに据付していることを立会いまたは記録により確認する。	図面のとおりに施工・据付していること。	組立状態及び据付状態に異常がないことを目視にて確認する。 耐圧・漏えい検査で漏えい確認できないフランジ部については適切に締め付けられていることを確認する。	
	耐圧・漏えい確認	最高使用圧力の1.5倍で一定時間保持後、同圧力に耐えていること、また、耐圧部からの漏えいがないことを立会いまたは記録により確認する。	最高使用圧力の1.5倍に耐え、かつ構造物の変形等がないこと。また、耐圧部から漏えいがないこと。	最高使用圧力の1.5倍の圧力にて10分以上保持し、変形の有無、耐圧部からの漏えいがないことを確認する。	別冊14 III 1
機能・性能	通水確認	通水ができることを立会いまたは記録により確認する。	通水ができること。	通水ができることを目視、流入先への流入音、水源・流入先の水位変化等で確認する。	

※1：雨水処理設備等に関わる主要な確認事項を確認するため、本施設の処理対象となる堰内雨水を用いた通水試験を実施した上で、使用前検査を受検する。

【補足】

添付資料－5 表－5の確認。雨水移送系統の通水確認は使用前検査1号検査合格後に堰内雨水を用いて実施する。

1. 内容確認事項 検査の確認項目（当社）について

実施計画記載の確認事項及び当社で行う確認事項を以下に示す。

ポリエチレン管

確認事項	確認項目	確認内容	判定基準	具体的な確認方法	関連実施計画
構造強度 ・耐震性	材料確認	実施計画に記載した材料について、製品検査成績書により確認する。	実施計画の記載とおりにあること。	実施計画に記載の通りの材料であることを図面および製品検査成績書により確認する。	2.36.2.1 表2.36.1
	寸法確認	実施計画に記載した主要寸法（外径相当）について、製品検査成績書により確認する。	実施計画の記載とおりにあること。	実施計画に記載の通りの寸法であることを図面および製品検査成績書により確認する。	2.36.2.1 表2.36.1
	外観確認	各部の外観について、立会いまたは記録により確認する。	有意な欠陥がないこと。	目視にて有意な欠陥がないことを確認する。	
	据付確認	機器が図面のとおり据付されていることを立会いまたは記録により確認する。	図面のとおり施工・据付していること。	組立状態及び据付状態に異常がないことを目視にて確認する。 耐圧・漏えい検査で漏えい確認できないフランジ部については適切に締め付けられていることを確認する。	
	耐圧・漏えい確認	製品の最高使用圧力以上で一定時間保持後、同圧力に耐えていること、また、耐圧部からの漏えいがないことを立会いまたは記録により確認する。	製品の最高使用圧力に耐え、かつ構造物の変形等がないこと。また、耐圧部から漏えいがないこと。	製品の最高使用圧力以上で60分以上保持後、同圧力に耐えていること、また、耐圧部からの漏えいがないことを確認する。	別冊14 III 1
機能・性能	通水確認	通水ができることを立会いまたは記録により確認する。	通水ができること。	通水ができることを目視、流入先への流入音、水源・流入先の水位変化等で確認する。	

※ 1：雨水処理設備等に関わる主要な確認事項を確認するため、本施設の処理対象となる堰内雨水を用いた通水試験を実施した上で、使用前検査を受検する。

【補足】

添付資料－5 表－6の確認。雨水移送系統の通水確認は使用前検査1号検査合格後に堰内雨水を用いて実施する。

1. 内容確認事項 検査の確認項目（当社）について

実施計画記載の確認事項及び当社で行う確認事項を以下に示す。

伸縮継手

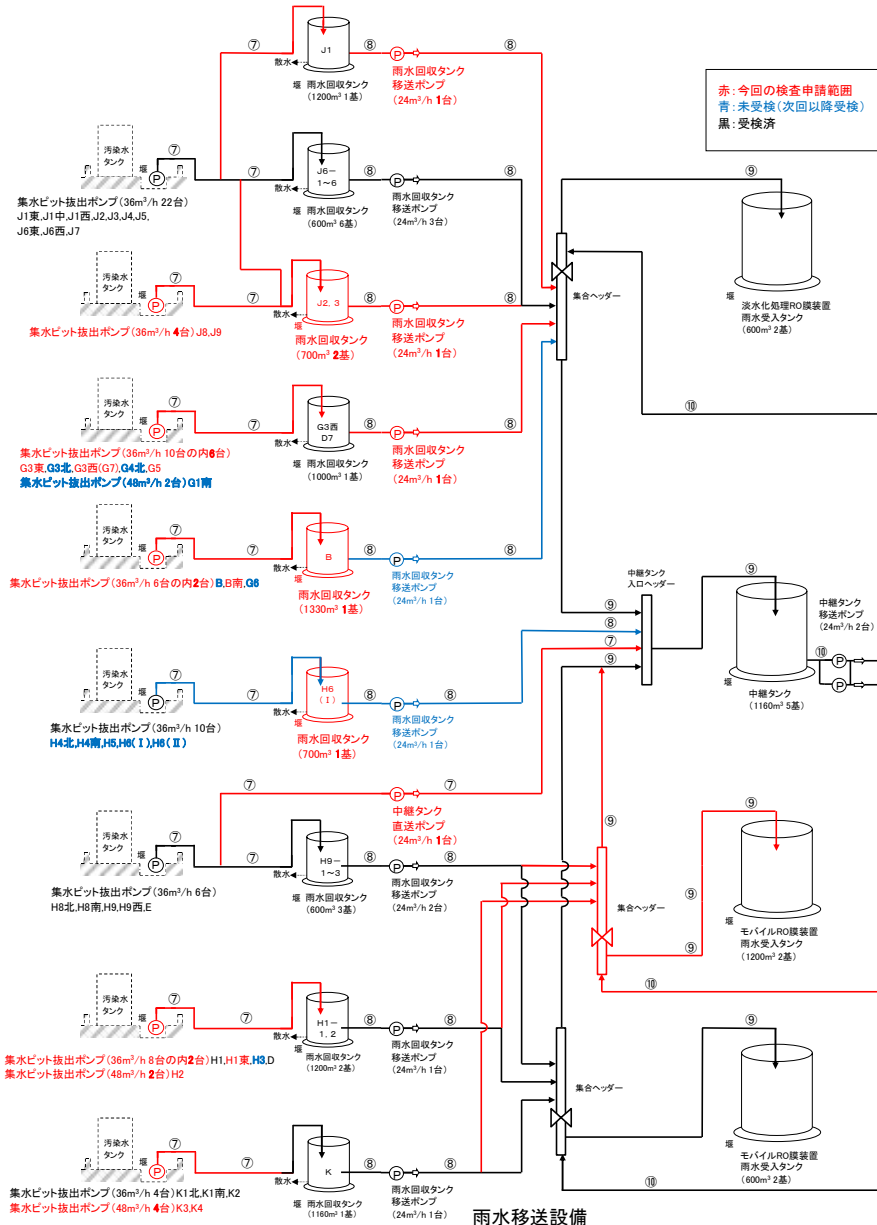
確認事項	確認項目	確認内容	判定基準	具体的な確認方法	関連実施計画
構造強度 ・耐震性	材料確認	実施計画に記載した主な材料について、材料証明書または納品書により確認する。	実施計画の記載とおりであること。	実施計画に記載の通りの材料であることを図面および材料証明書にて確認する。	2.36.2.1 表2.36.1
	寸法確認	実施計画に記載した主要寸法について、材料証明書または納品書により確認する。	実施計画の記載とおりであること。	実施計画に記載の通りの寸法であることを図面および納品書（製品検査成績書）により確認する。	2.36.2.1 表2.36.1
	外観確認	各部の外観について、立会いまたは記録により確認する。	有意な欠陥がないこと。	目視にて有意な欠陥がないことを確認する。	
	据付確認	機器が図面のとおり据付していることを立会いまたは記録により確認する。	図面のとおり施工・据付していること。	組立状態及び据付状態に異常がないことを目視にて確認する。 耐圧・漏えい検査で漏えい確認できないフランジ部については適切に締め付けられていることを確認する。	
	耐圧・漏えい確認	製品の最高使用圧力の1.5倍で一定時間保持後、同圧力に耐えていること、また、耐圧部からの漏えいがないことを立会いまたは記録により確認する。	製品の最高使用圧力の1.5倍に耐え、かつ構造物の変形等がないこと。また、耐圧部からの漏えいがないこと。	製品の最高使用圧力の1.5倍で10分以上保持後、同圧力に耐えていること、また、耐圧部からの漏えいがないことを確認する。	別冊14 III 1
機能・性能	通水確認	通水ができることを立会いまたは記録により確認する。	通水ができること。	通水ができることを目視、流入先への流入音、水源・流入先の水位変化等で確認する。	

※ 1：雨水処理設備等に関わる主要な確認事項を確認するため、本施設の処理対象となる堰内雨水を用いた通水試験を実施した上で、使用前検査を受検する。

【補足】

添付資料－5 表－10の確認。雨水移送系統の通水確認は使用前検査1号検査合格後に堰内雨水を用いて実施する。

2. 実施計画変更範囲と今回の検査申請範囲の整理について



雨水回収タンクと中継タンク直送ポンプの実実施計画変更申請分は今回受検する。

集水ピット抽出ポンプと雨水回収タンク移送ポンプは前回の
変更申請で追加したもので今回受検するものや、今回の変更
申請で追加したが、次回以降の検査申請で受検するものなど
が混在し、検査申請範囲が複雑となっている。
(次ページに整理表を示す)

2. 実施計画変更範囲と今回の検査申請範囲の整理について



実施計画変更範囲と今回受検対象の整理表【集水ピット抽出ポンプ】

タンクエリア堰	変更申請前		変更申請後		変更内容
	(36m ³ /h)	(48m ³ /h)	(36m ³ /h)	(48m ³ /h)	
今回の検査申請範囲					
B南			2		タンクエリア設置に伴う追加
G3東	2		2		
G3西(G7)	2		2		
G5	2		2		
H1東	2		2		ルート長によるポンプ仕様変更
H2	2		2	2	
J8	2		2		
J9	2		2		
K3	2		2		ルート長によるポンプ仕様変更
K4	2		2		
小計	18	0	14	6	
受検済					
D	2		2		
E	2		2		
H1	2		2		
H8北	1		1		
H8南	1		1		
H9	1		1		
H9西	1		1		
J1東	2		2		
J1中	2		2		
J1西	2		2		
J2	4		4		
J3	2		2		
J4	4		4		
J5	2		2		
J6東	1		1		
J6西	1		1		
J7	2		2		
K1北	1		1		
K1南	1		1		
K2	2		2		
小計	36	0	36	0	
未受検(次回以降受検)					
C東	2		0		Cエリア解体認可による減
C西	2		0		Cエリア解体認可による減
G7	1		0		G3西と堰が共通となったため減
B			2		タンクエリア設置に伴う追加
G1南				2	タンクエリア設置に伴う追加
G3北	1		2		台数見直しによる変更
G4北	1		2		台数見直しによる変更
G6			2		タンクエリア設置に伴う追加
H3			2		タンクエリア設置に伴う追加
H4北	2		2		移送先見直し(H1-1.2⇒H6(I))
H4南	2		2		移送先見直し(H1-1.2⇒H6(I))
H5			2		タンクエリア設置に伴う追加
H6(I)			2		タンクエリア設置に伴う追加
H6(II)			2		タンクエリア設置に伴う追加
小計	11	0	20	2	
合計	65	0	70	8	
	65		78		

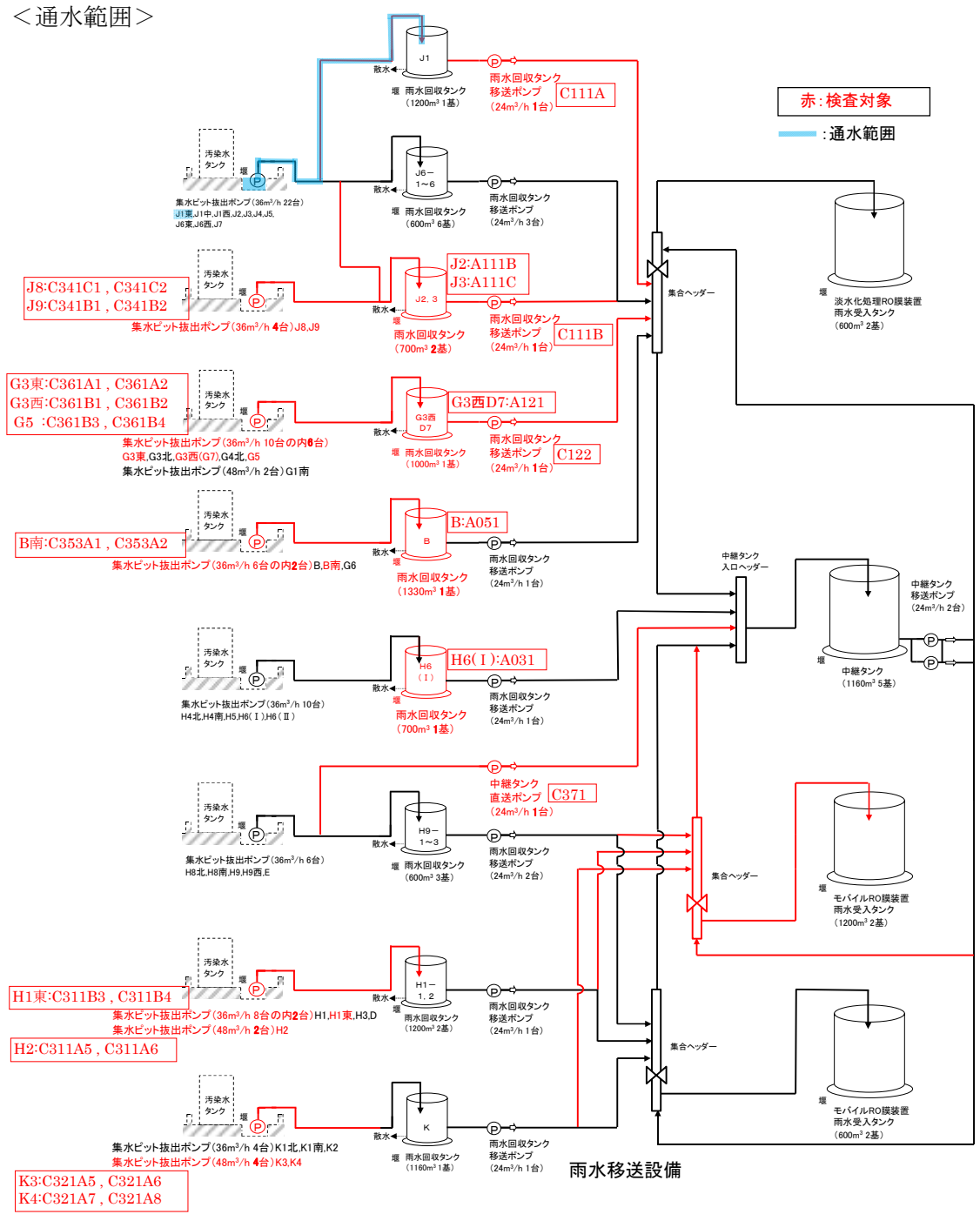
実施計画変更範囲と今回受検対象の整理表【雨水回収タンク移送ポンプ】

タンクエリア堰	変更申請前		変更申請後		変更内容
	(36m ³ /h)	(48m ³ /h)	(36m ³ /h)	(48m ³ /h)	
今回の検査申請範囲					
J1			1	1	回収タンク設置に伴う追加
J2, 3				1	
G3西D7			1	1	
小計			2	3	
受検済					
H9-1, 2, 3			2	2	
H1-1, 2			1	1	
K			1	1	
J6-1			1	1	
J6-2, 3, 4			1	1	
J6-5, 6			1	1	
小計			7	7	
未受検(次回以降受検)					
B				1	回収タンク設置に伴う追加
H6(I)				1	回収タンク設置に伴う追加
小計			0	2	
合計			9	12	

通水検査要領

1 J 1 東集水ピット抽出ポンプ→ J 1 雨水回収タンク

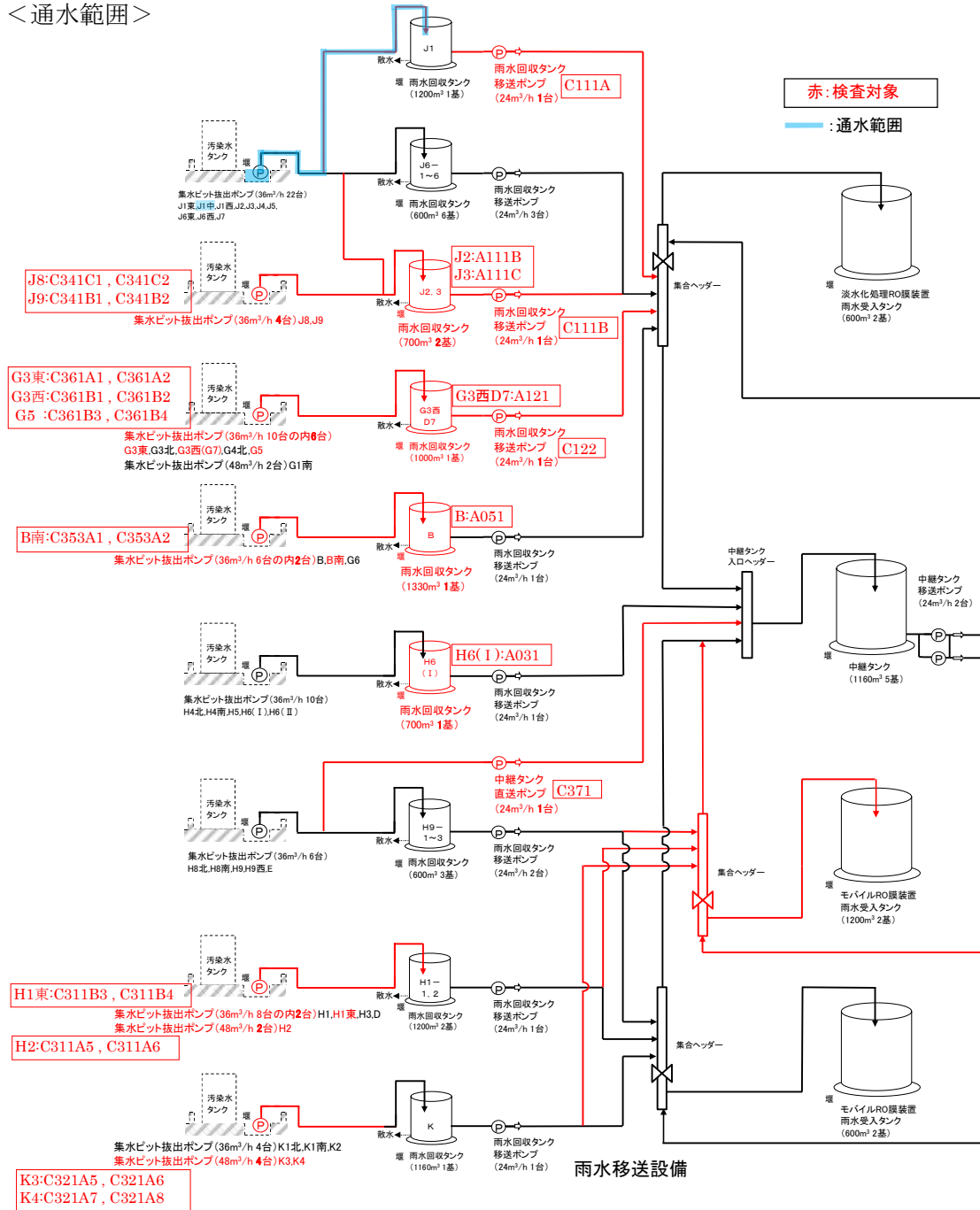
<通水範囲>



- (1) J 1 東集水ピット抽出ポンプから J 1 雨水回収タンクまでの系統構成を実施する。
- (2) J 1 東集水ピット抽出ポンプ A (C391A1) を起動する。
- (3) J 1 雨水回収タンクへ通水でき、かつ、漏えいのないことを確認する。
- (4) J 1 東集水ピット抽出ポンプ A (C391A1) を停止する。

2 J 1 中集水ピット抽出ポンプ→ J 1 雨水回収タンク

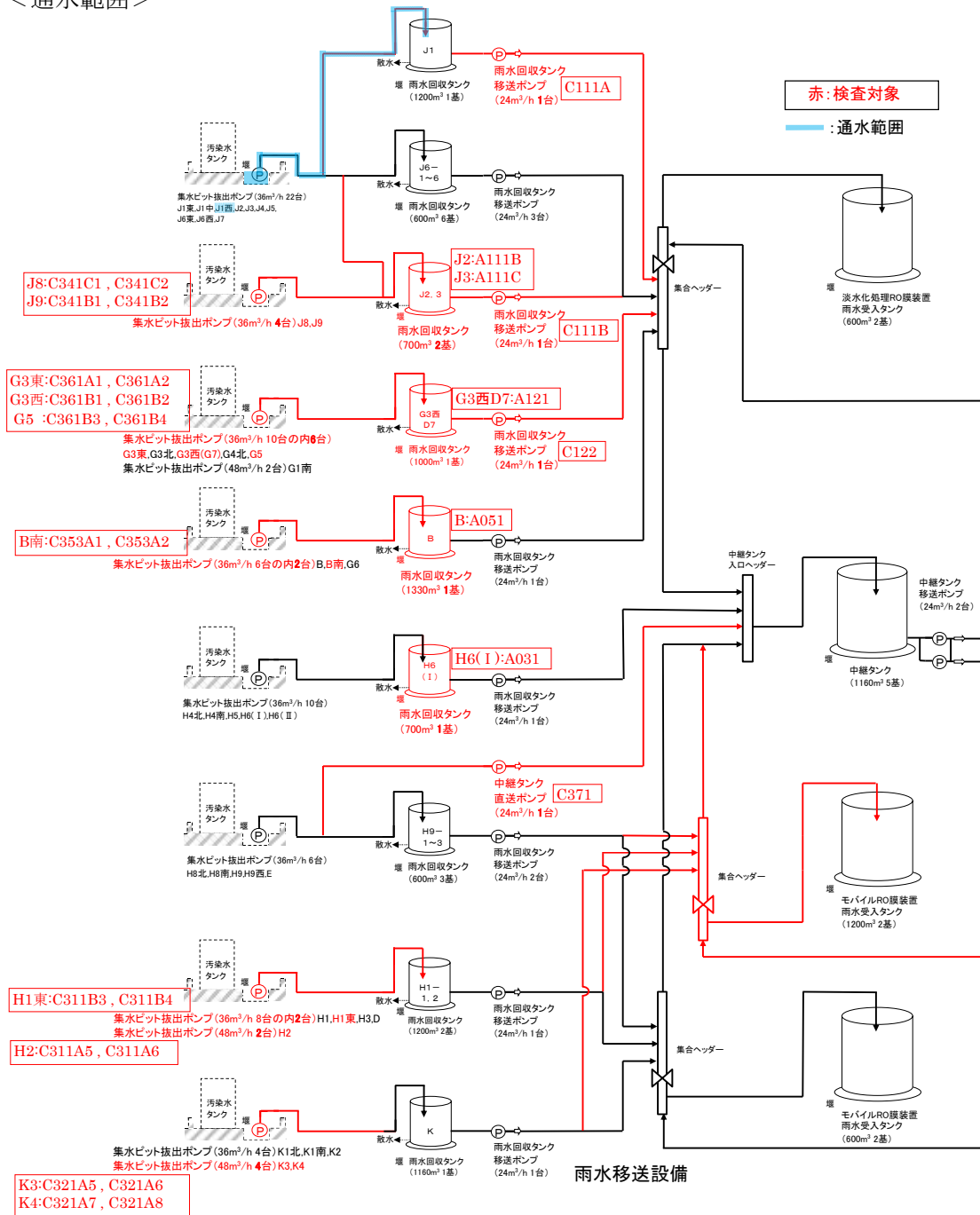
< 通水範囲 >



- (1) J 1 中集水ピット抽出ポンプから J 1 雨水回収タンクまでの系統構成を実施する。
- (2) J 1 中集水ピット抽出ポンプ A (C391A3) を起動する。
- (3) J 1 雨水回収タンクへ通水でき、かつ、漏えいのないことを確認する。
- (4) J 1 中集水ピット抽出ポンプ A (C391A3) を停止する。

3 J 1 西集水ピット抽出ポンプ→ J 1 雨水回収タンク

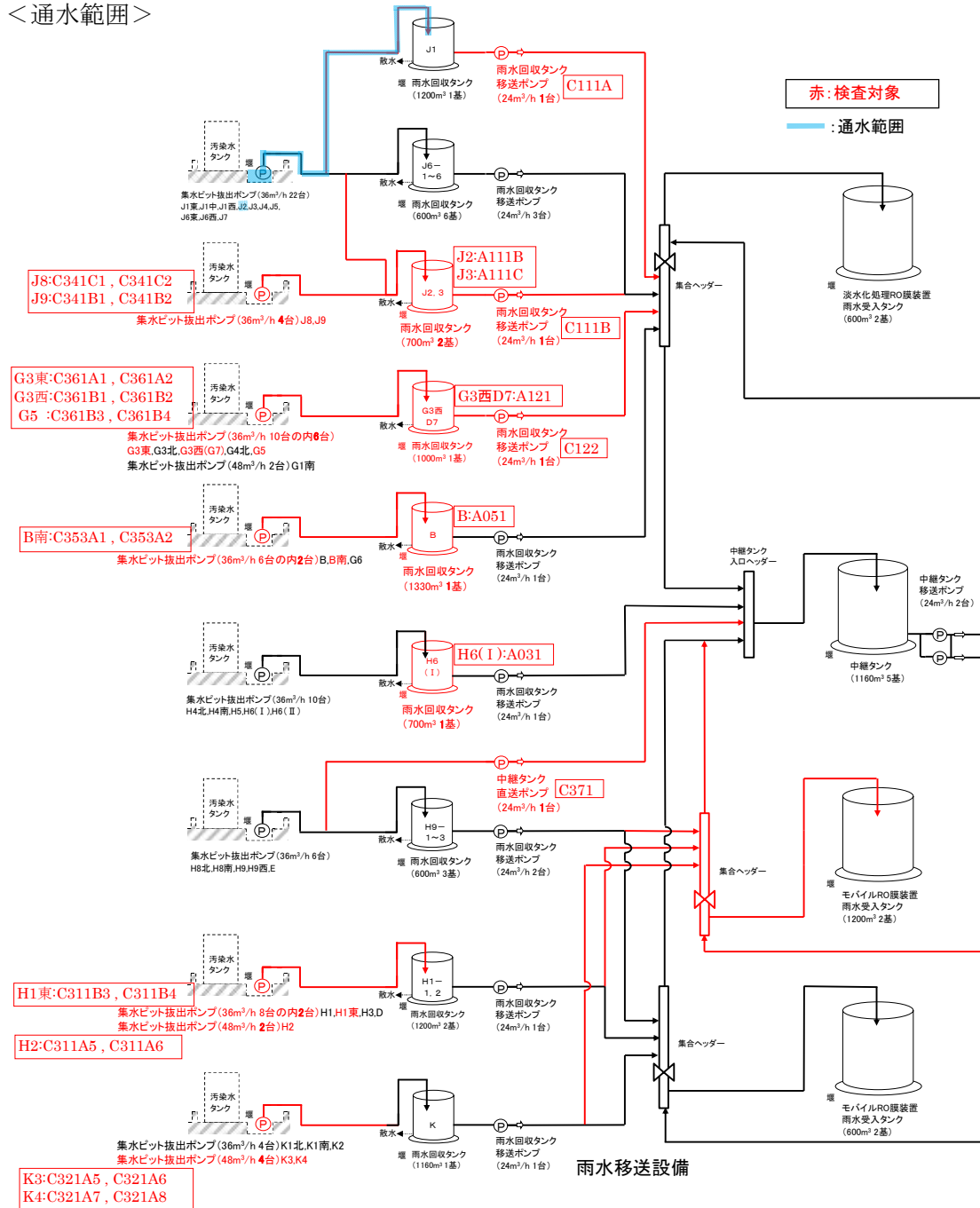
< 通水範囲 >



- (1) J 1 西集水ピット抽出ポンプから J 1 雨水回収タンクまでの系統構成を実施する。
- (2) J 1 西集水ピット抽出ポンプ A (C391B1) を起動する。
- (3) J 1 雨水回収タンクへ通水でき、かつ、漏えいのないことを確認する。
- (4) J 1 西集水ピット抽出ポンプ A (C391B1) を停止する。

4 J 2 集水ピット抽出ポンプ→J 1 雨水回収タンク

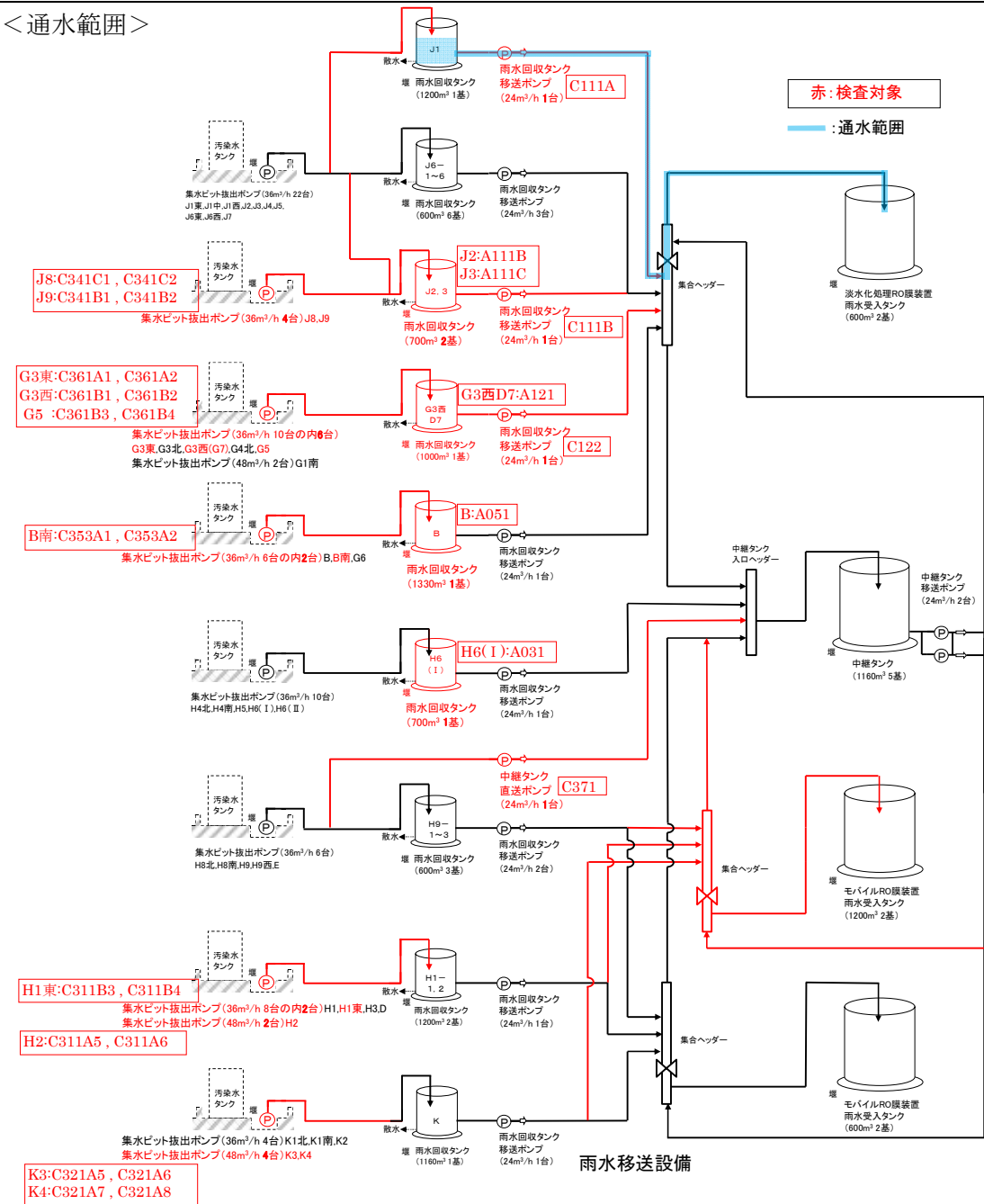
< 通水範囲 >



- (1) J 2 集水ピット抽出ポンプから J 1 雨水回収タンクまでの系統構成を実施する。
- (2) J 2 集水ピット抽出ポンプ A (C391C1) を起動する。
- (3) J 1 雨水回収タンクへ通水でき、かつ、漏えいのないことを確認する。
- (4) J 2 集水ピット抽出ポンプ A (C391C1) を停止する。

5 J 1 雨水回収タンク→淡水化处理RO膜装置雨水受入タンク A

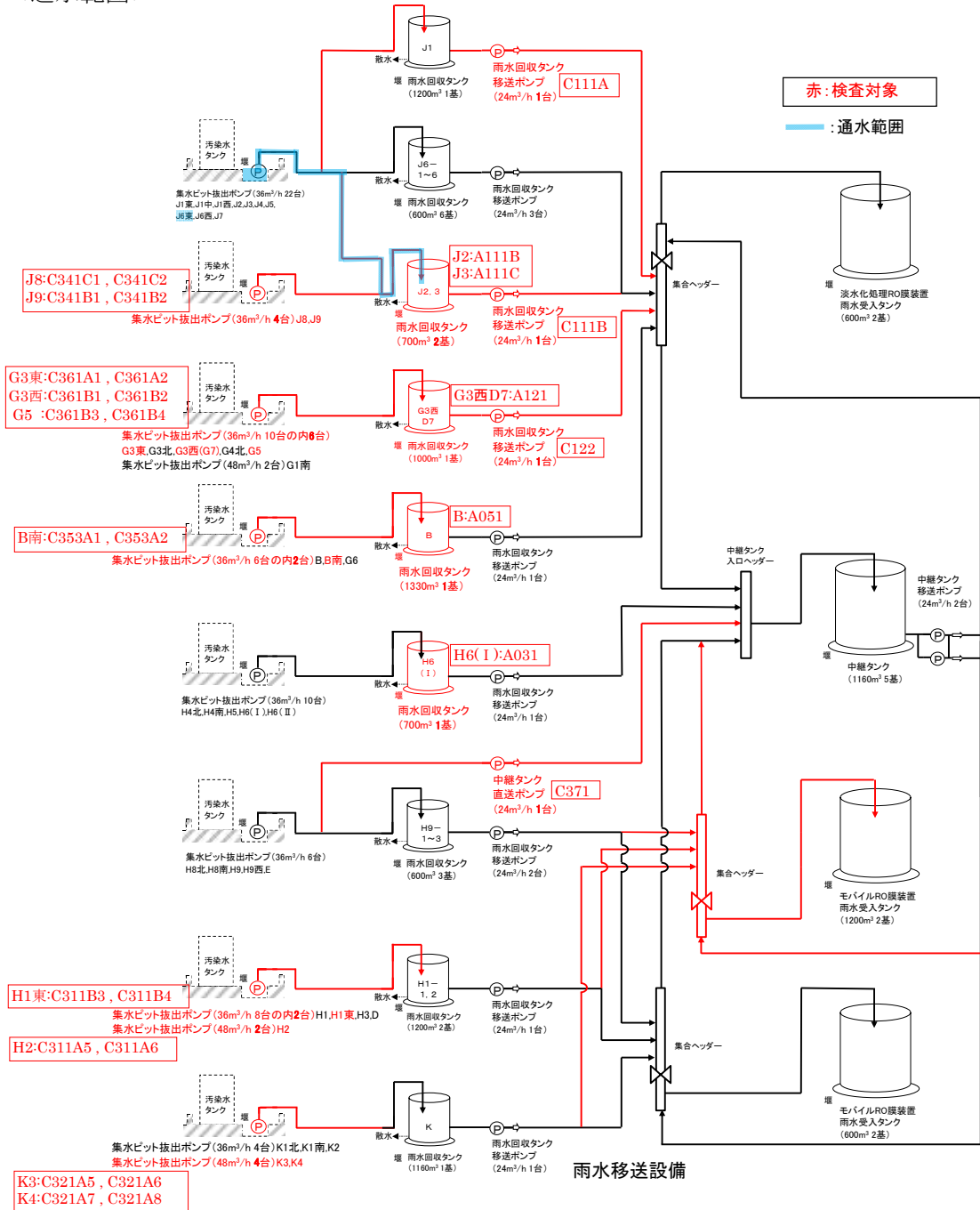
< 通水範囲 >



- (1) J 1 雨水回収タンクから淡水化处理RO膜装置雨水受入タンク A までの系統構成を実施する。
- (2) J 1 雨水回収タンク移送ポンプ (C111A) を起動する。
- (3) 淡水化处理RO膜装置雨水受入タンク A へ通水でき、かつ、漏えいのないことを確認する。
- (4) J 1 雨水回収タンク移送ポンプ (C111A) を停止する。

8 J 6 東集水ピット抽出ポンプ→ J 2 雨水回収タンク

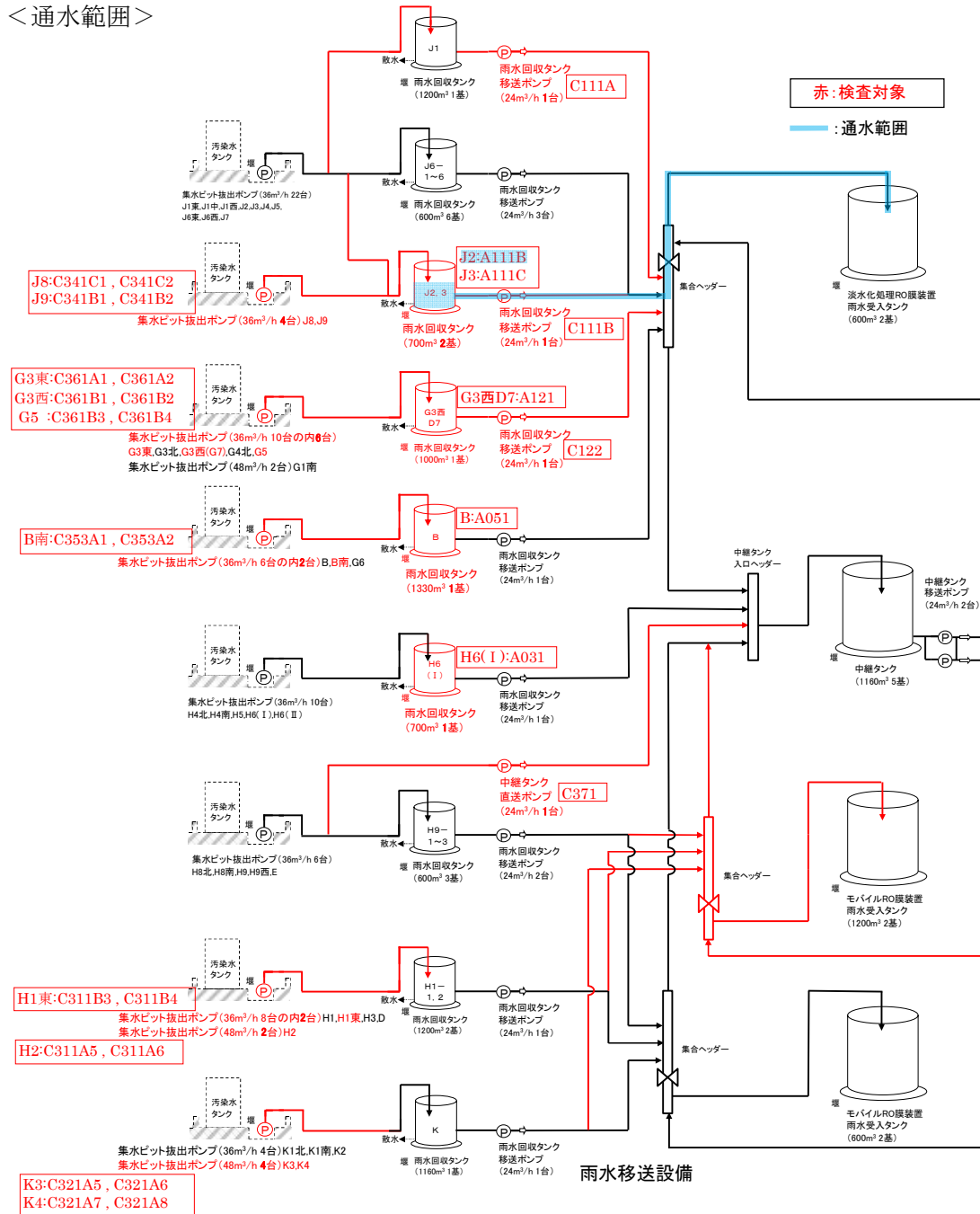
< 通水範囲 >



- (1) J 6 東集水ピット抽出ポンプから J 2 雨水回収タンクまでの系統構成を実施する。
- (2) J 6 東集水ピット抽出ポンプ (C391D1) を起動する。
- (3) J 2 雨水回収タンクへ通水でき、かつ、漏えいのないことを確認する。
- (4) J 6 東集水ピット抽出ポンプ (C391D1) を停止する。

9 J 2 雨水回収タンク→淡水化処理RO膜装置雨水受入タンク A

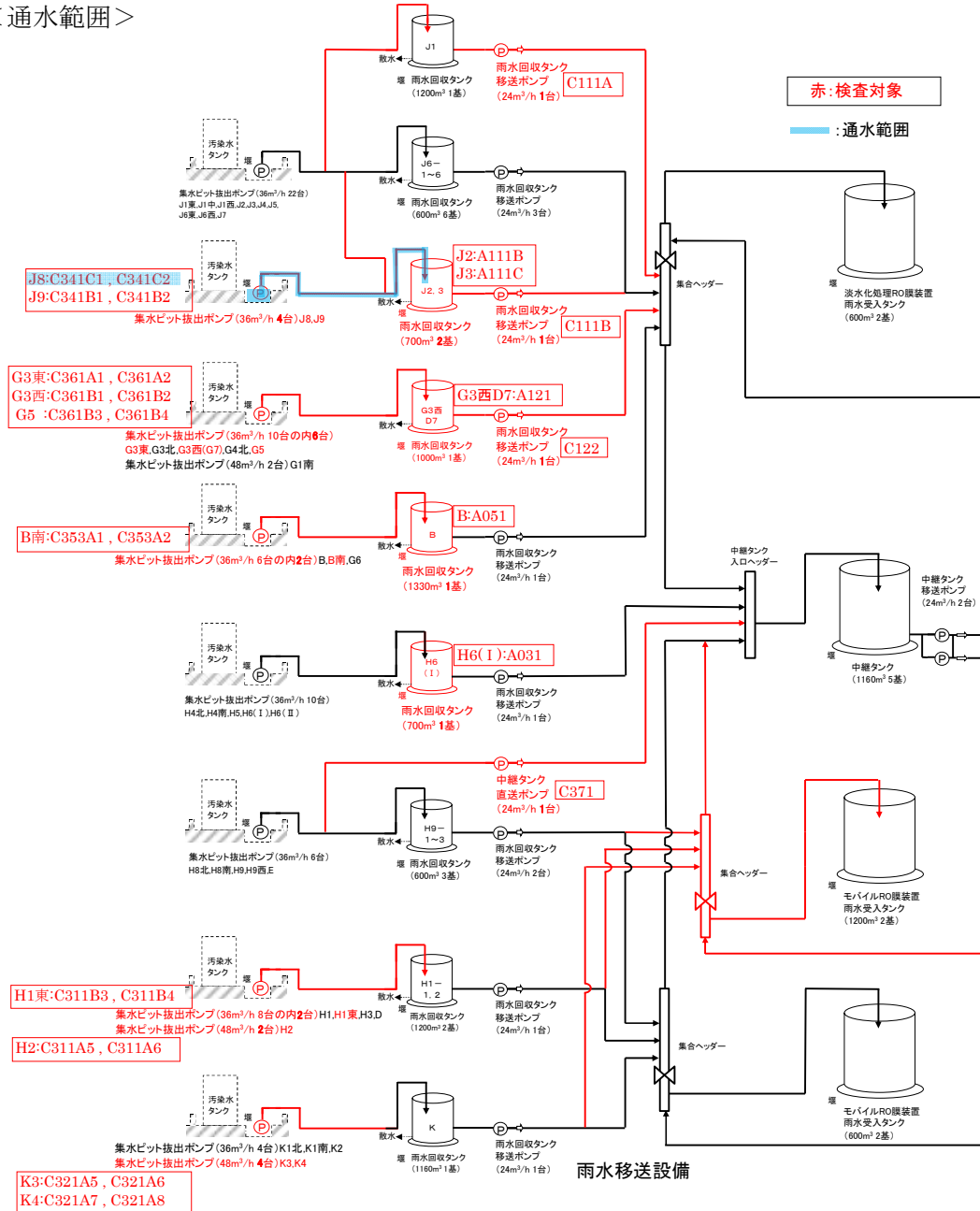
< 通水範囲 >



- | | |
|-----|--|
| (1) | J 2 雨水回収タンクから淡水化処理RO膜装置雨水受入タンク A までの系統構成を実施する。 |
| (2) | J 2, J 3 雨水回収タンク移送ポンプ(C111B)を起動する。 |
| (3) | 淡水化処理RO膜装置雨水受入タンク A へ通水でき, かつ, 漏えいのないことを確認する。 |
| (4) | J 2, J 3 雨水回収タンク移送ポンプ(C111B)を停止する。 |

10 J8集水ピット抽出ポンプ→J3雨水回収タンク

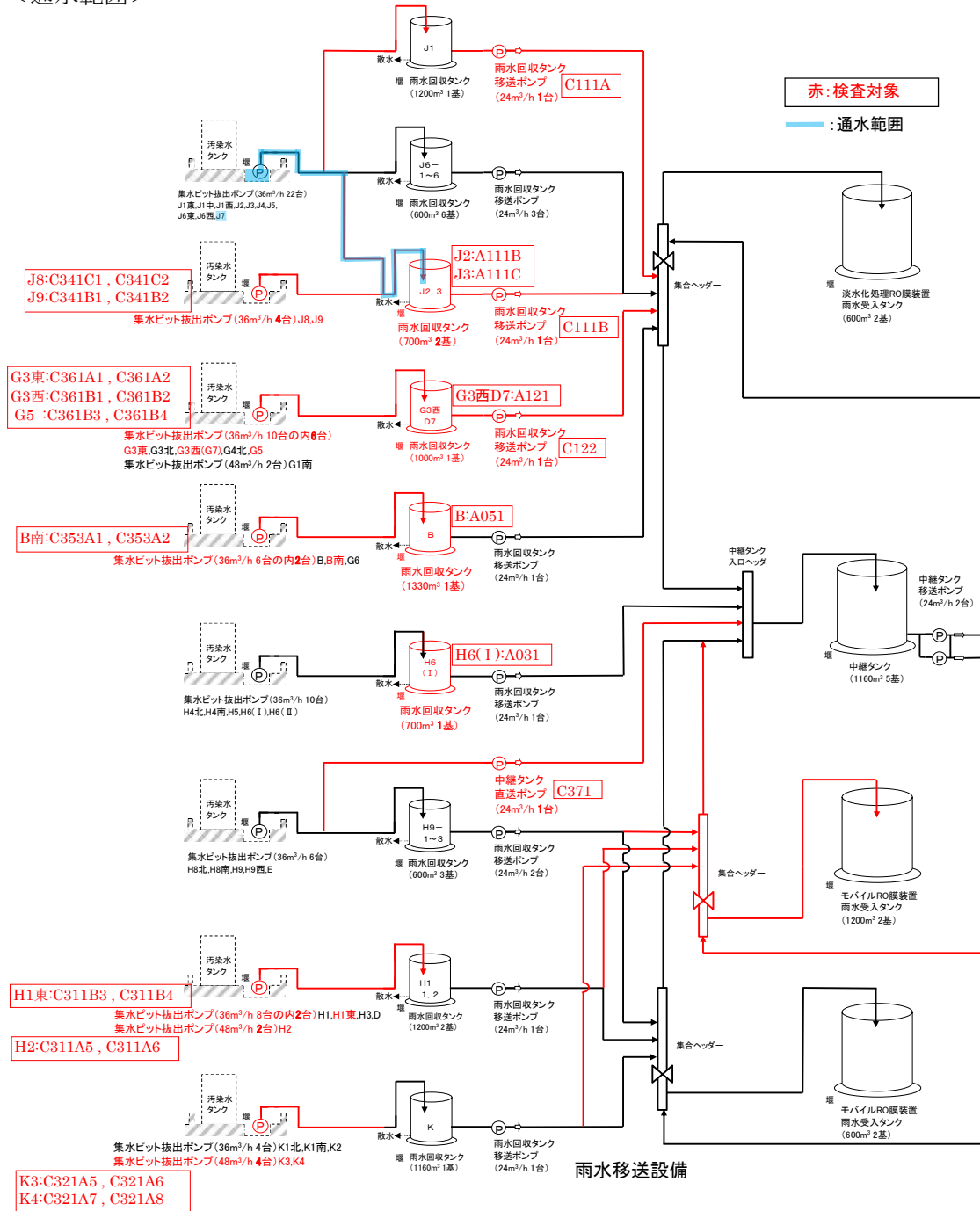
< 通水範囲 >



- (1) J8集水ピット抽出ポンプからJ3雨水回収タンクまでの系統構成を実施する。
- (2) J8集水ピット抽出ポンプA(C341C1)を起動する。
- (3) J3雨水回収タンクへ通水でき、かつ、漏えいのないことを確認する。
- (4) J8集水ピット抽出ポンプA(C341C1)を停止する。
- (5) J8集水ピット抽出ポンプB(C341C2)を起動する。
- (6) J3雨水回収タンクへ通水でき、かつ、漏えいのないことを確認する。
- (7) J8集水ピット抽出ポンプB(C341C2)を停止する。

1 1 J 7集水ピット抽出ポンプ→ J 3雨水回収タンク

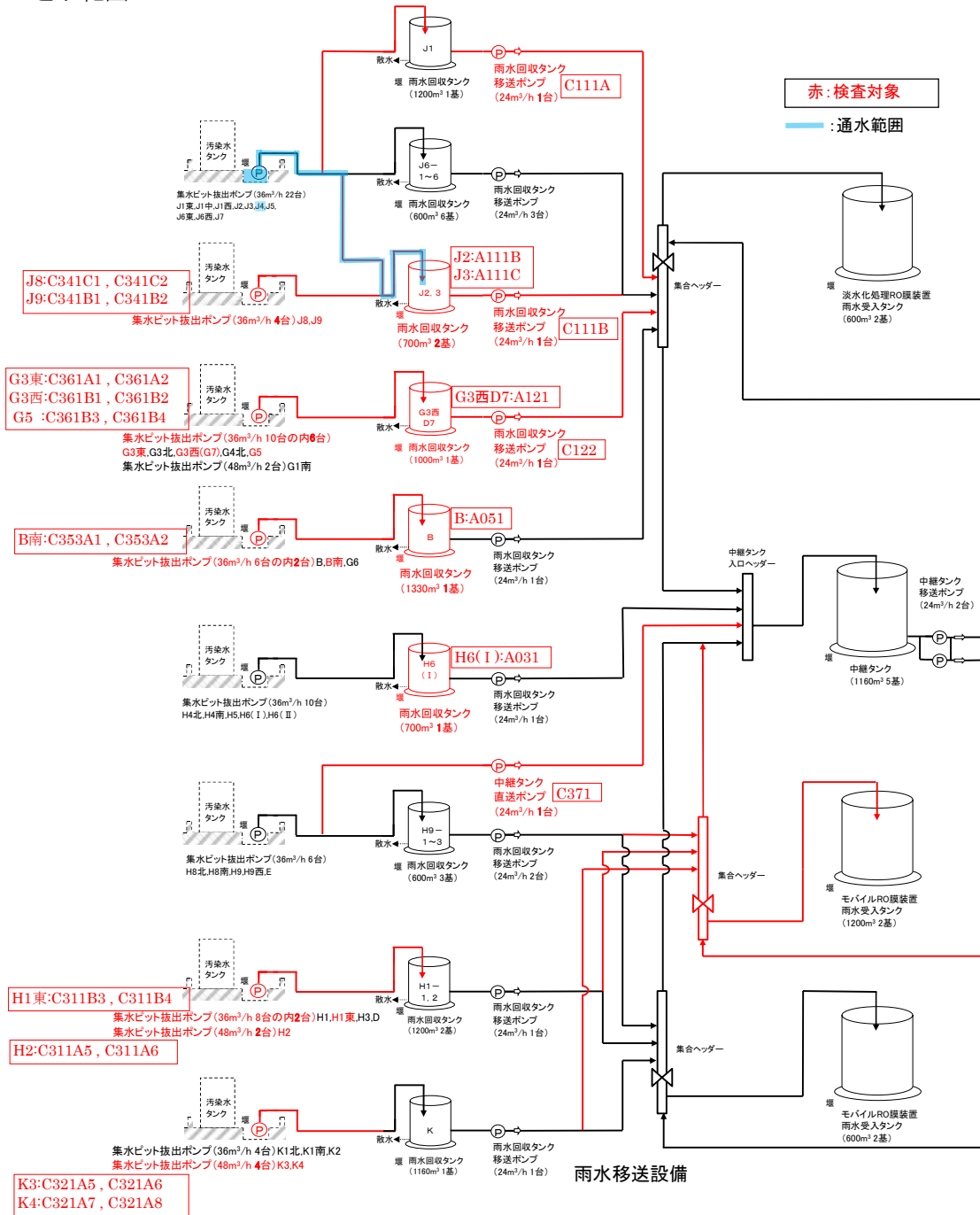
< 通水範囲 >



- (1) J 7集水ピット抽出ポンプから J 3雨水回収タンクまでの系統構成を実施する。
- (2) J 7集水ピット抽出ポンプ A (C391E1) を起動する。
- (3) J 3雨水回収タンクへ通水でき、かつ、漏えいのないことを確認する。
- (4) J 7集水ピット抽出ポンプ A (C391E1) を停止する。

1 2 J 4集水ピット抽出ポンプ→ J 3 雨水回収タンク

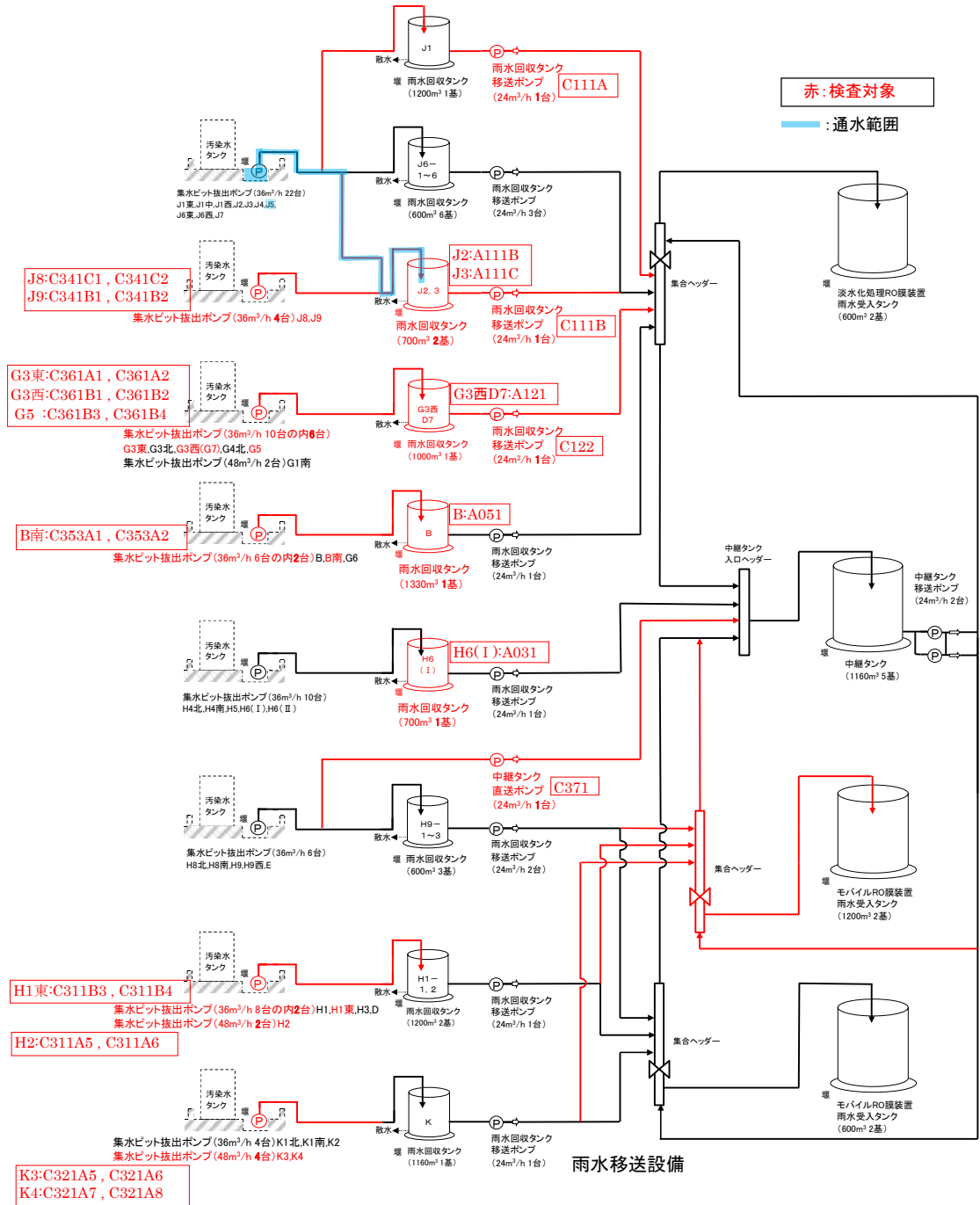
< 通水範囲 >



- (1) J 4 集水ピット抽出ポンプから J 3 雨水回収タンクまでの系統構成を実施する。
- (2) J 4 集水ピット抽出ポンプ A (C391F1) を起動する。
- (3) J 3 雨水回収タンクへ通水でき、かつ、漏えいのないことを確認する。
- (4) J 4 集水ピット抽出ポンプ A (C391F1) を停止する。

13 J5集水ピット抽出ポンプ→J3雨水回収タンク

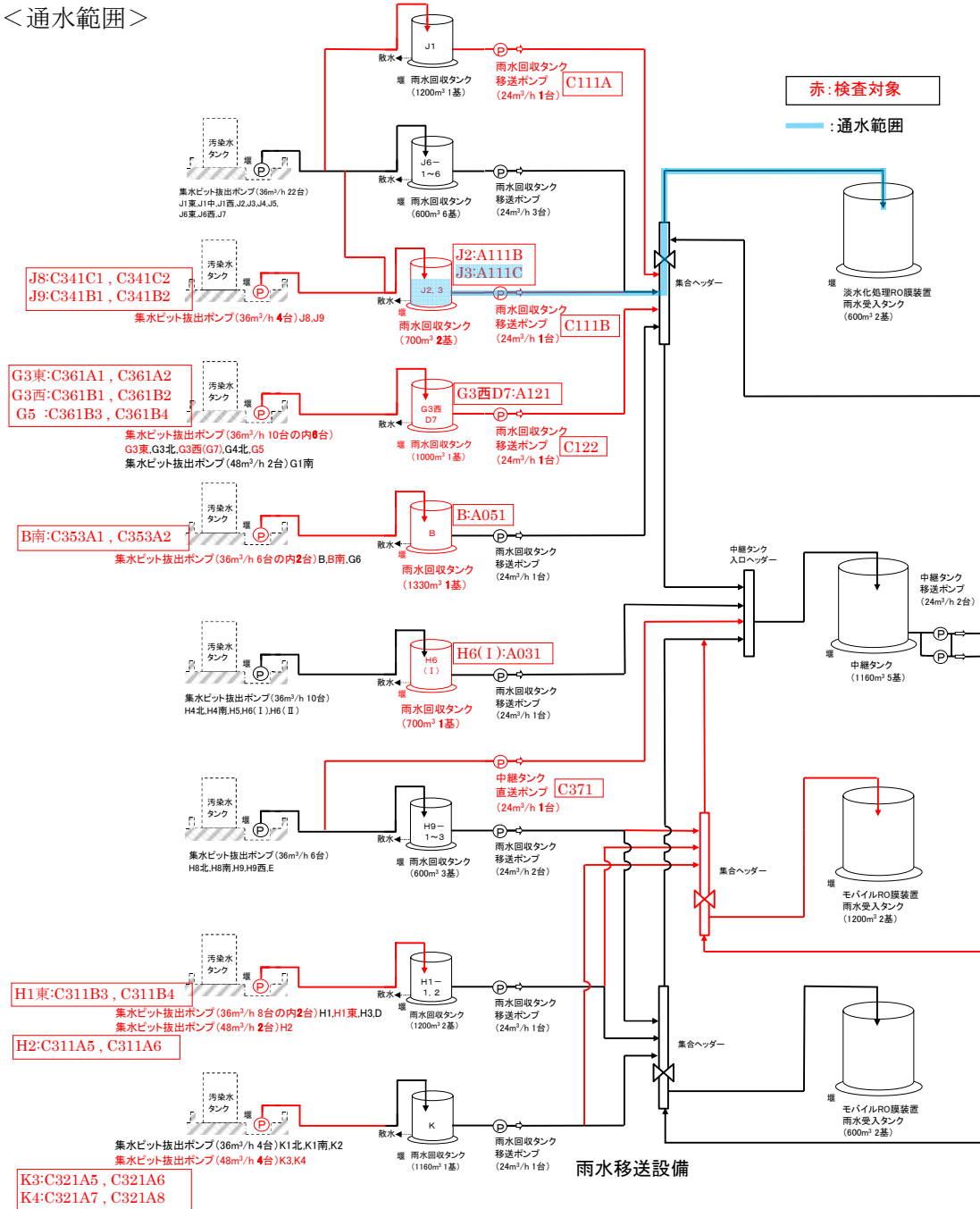
< 通水範囲 >



- (1) J5集水ピット抽出ポンプからJ3雨水回収タンクまでの系統構成を実施する。
- (2) J5集水ピット抽出ポンプA (C391D3)を起動する。
- (3) J3雨水回収タンクへ通水でき、かつ、漏えいのないことを確認する。
- (4) J5集水ピット抽出ポンプA (C391D3)を停止する。

1 4 J 3 雨水回収タンク→淡水化処理RO膜装置雨水受入タンク A

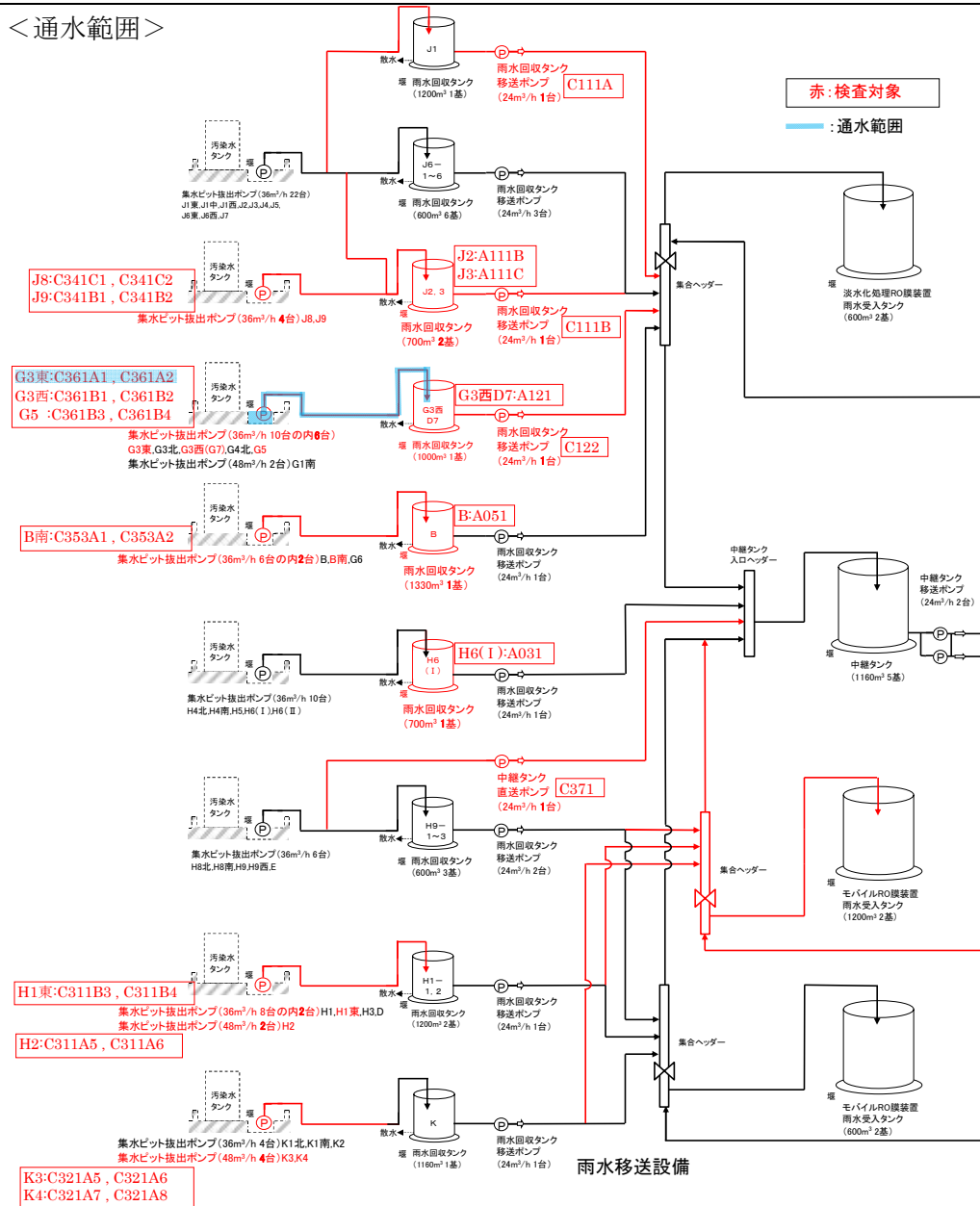
< 通水範囲 >



- | | |
|-----|---|
| (1) | J 3 雨水回収タンクから淡水化処理RO膜装置雨水受入タンク Aまでの系統構成を実施する。 |
| (2) | J 2, J 3 雨水回収タンク移送ポンプ(C111B)を起動する。 |
| (3) | 淡水化処理RO膜装置雨水受入タンク Aへ通水でき, かつ, 漏えいのないことを確認する。 |
| (4) | J 2, J 3 雨水回収タンク移送ポンプ(C111B)を停止する。 |

15 G3東集水ピット抽出ポンプ→G3西D7雨水回収タンク

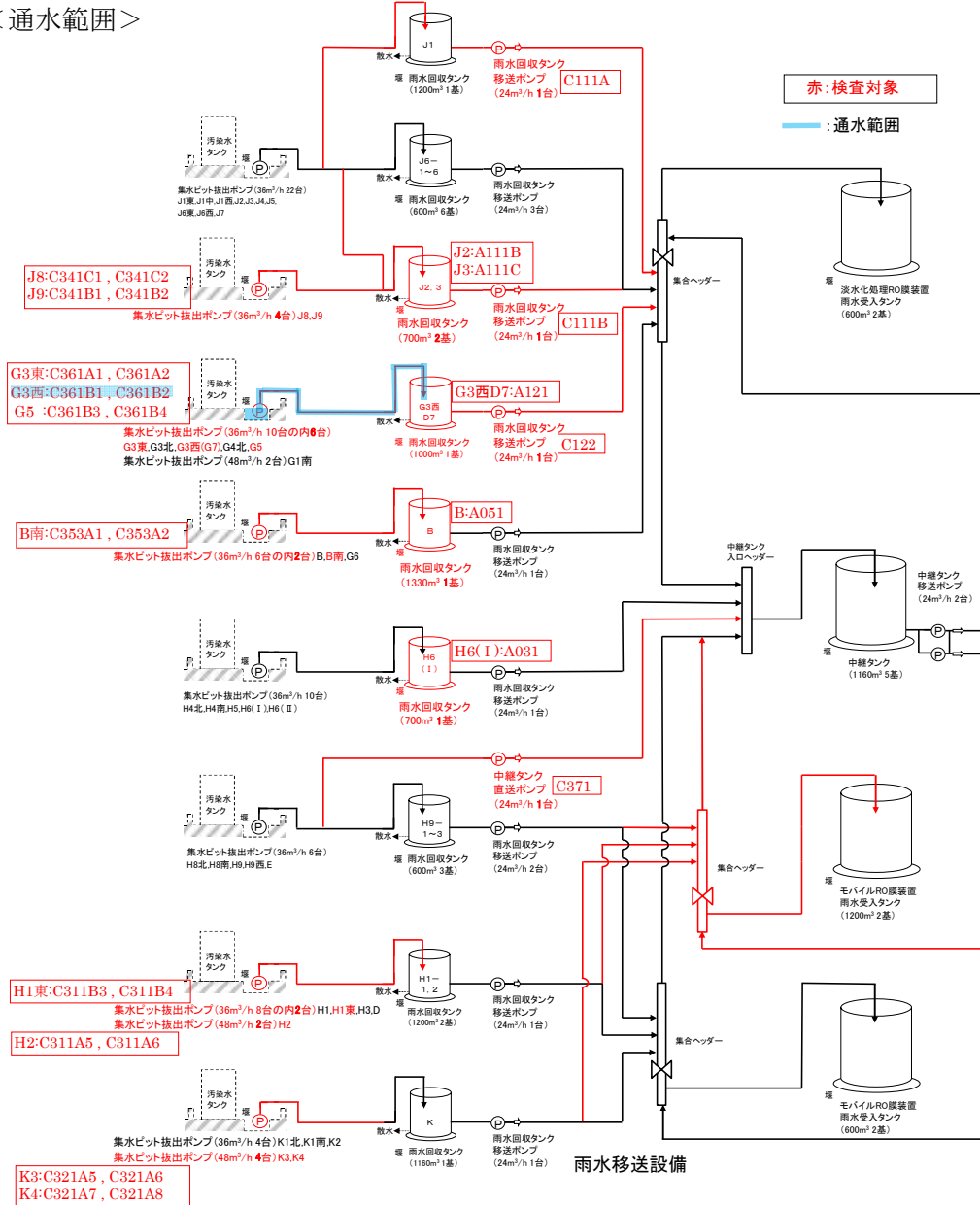
< 通水範囲 >



- (1) G3東集水ピット抽出ポンプからG3西D7雨水回収タンクまでの系統構成を実施する。
- (2) G3東集水ピット抽出ポンプA (C361A1)を起動する。
- (3) G3西D7雨水回収タンクへ通水でき、かつ、漏えいのないことを確認する。
- (4) G3東集水ピット抽出ポンプA (C361A1)を停止する。
- (5) G3東集水ピット抽出ポンプB (C361A2)を起動する。
- (6) G3西D7雨水回収タンクへ通水でき、かつ、漏えいのないことを確認する。
- (7) G3東集水ピット抽出ポンプB (C361A2)を停止する。

16 G3西集水ピット抽出ポンプ→G3西D7雨水回収タンク

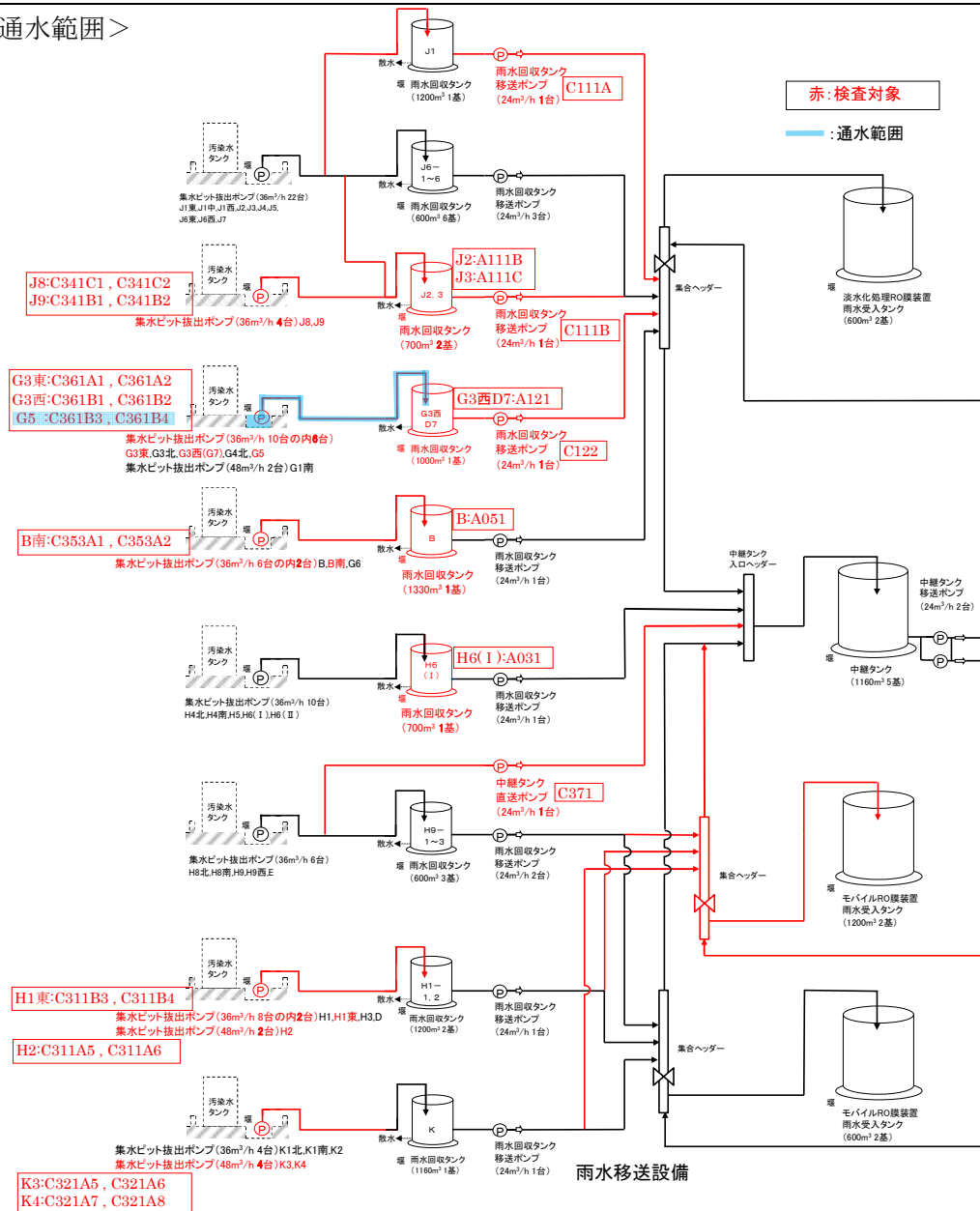
< 通水範囲 >



- (1) G3西集水ピット抽出ポンプからG3西D7雨水回収タンクまでの系統構成を実施する。
- (2) G3西集水ピット抽出ポンプA(C361B1)を起動する。
- (3) G3西D7雨水回収タンクへ通水でき、かつ、漏えいのないことを確認する。
- (4) G3西集水ピット抽出ポンプA(C361B1)を停止する。
- (5) G3西集水ピット抽出ポンプB(C361B2)を起動する。
- (6) G3西D7雨水回収タンクへ通水でき、かつ、漏えいのないことを確認する。
- (7) G3西集水ピット抽出ポンプB(C361B2)を停止する。

17 G5集水ピット抽出ポンプ→G3西D7雨水回収タンク

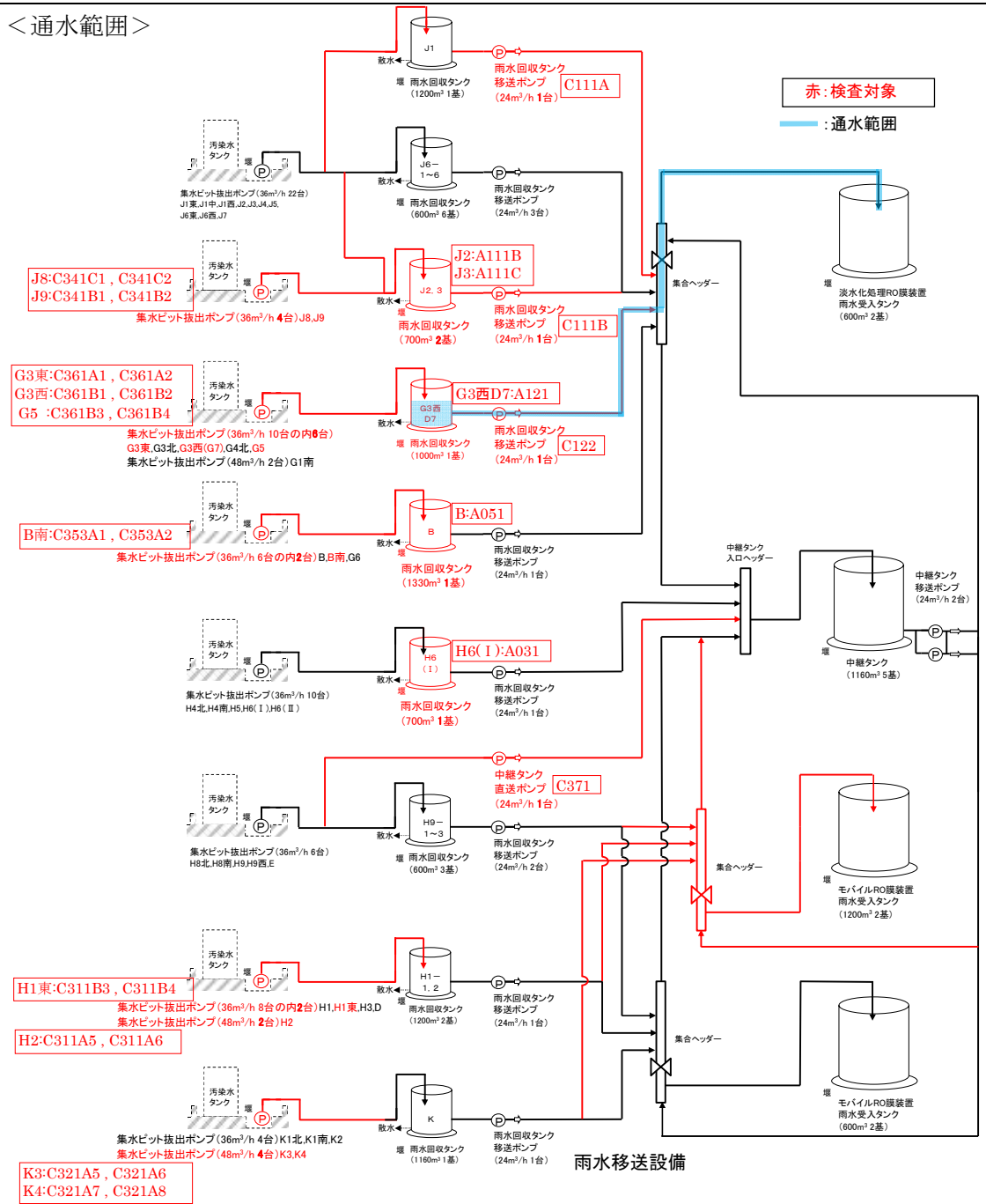
< 通水範囲 >



- (1) G5集水ピット抽出ポンプからG3西D7雨水回収タンクまでの系統構成を実施する。
- (2) G5集水ピット抽出ポンプA (C361B3)を起動する。
- (3) G3西D7雨水回収タンクへ通水でき、かつ、漏えいのないことを確認する。
- (4) G5集水ピット抽出ポンプA (C361B3)を停止する。
- (5) G5集水ピット抽出ポンプB (C361B4)を起動する。
- (6) G3西D7雨水回収タンクへ通水でき、かつ、漏えいのないことを確認する。
- (7) G5集水ピット抽出ポンプB (C361B4)を停止する。

18 G3西D7 雨水回収タンク→淡水化処理RO膜装置雨水受入タンクA

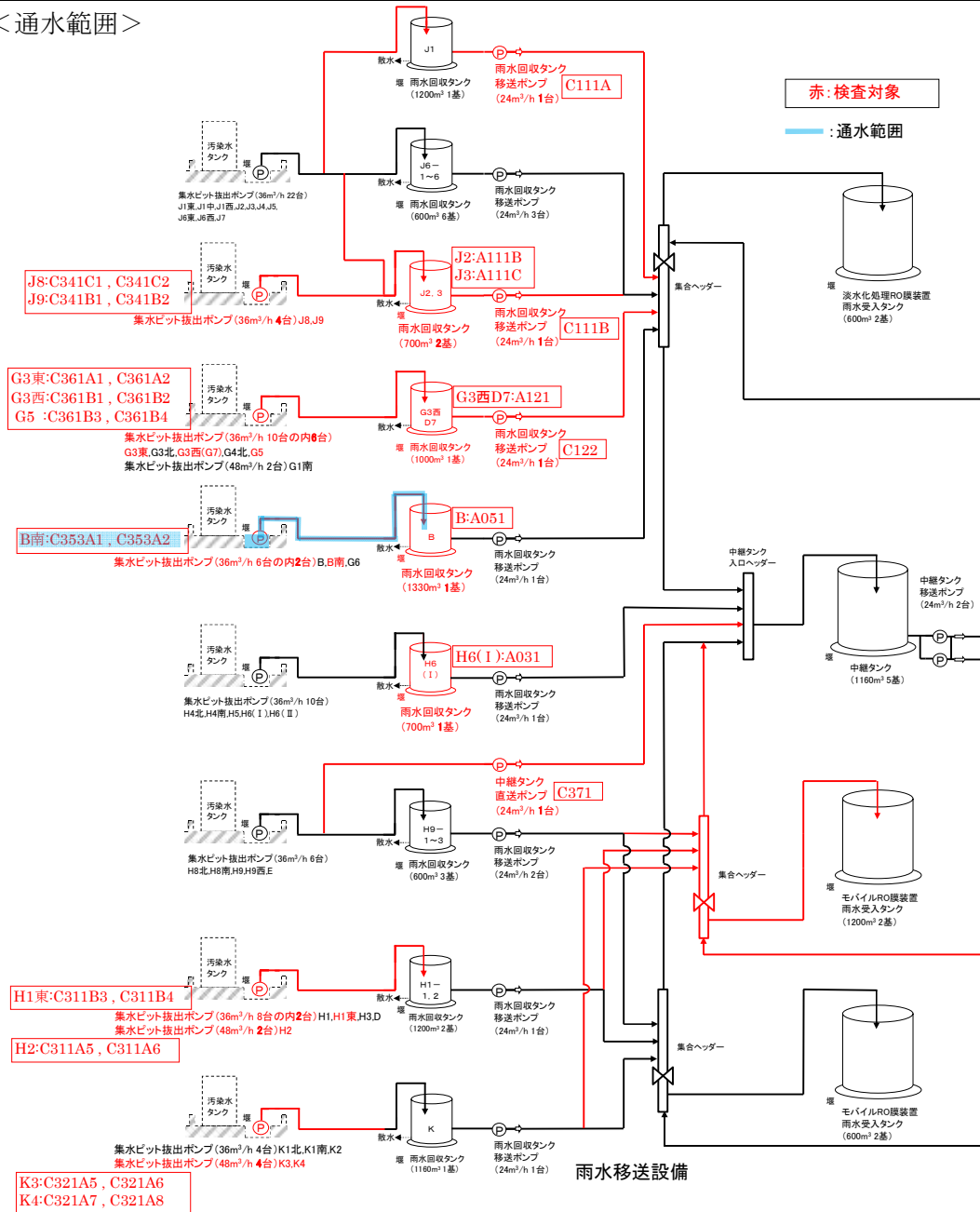
< 通水範囲 >



- (1) G3西D7 雨水回収タンクから淡水化処理RO膜装置雨水受入タンクAまでの系統構成を実施する。
- (2) G3西D7 雨水回収タンク移送ポンプ(C122)を起動する。
- (3) 淡水化処理RO膜装置雨水受入タンクAへ通水でき、かつ、漏えいのないことを確認する。
- (4) G3西D7 雨水回収タンク移送ポンプ(C122)を停止する。

19 B南集水ピット抽出ポンプ→B雨水回収タンク

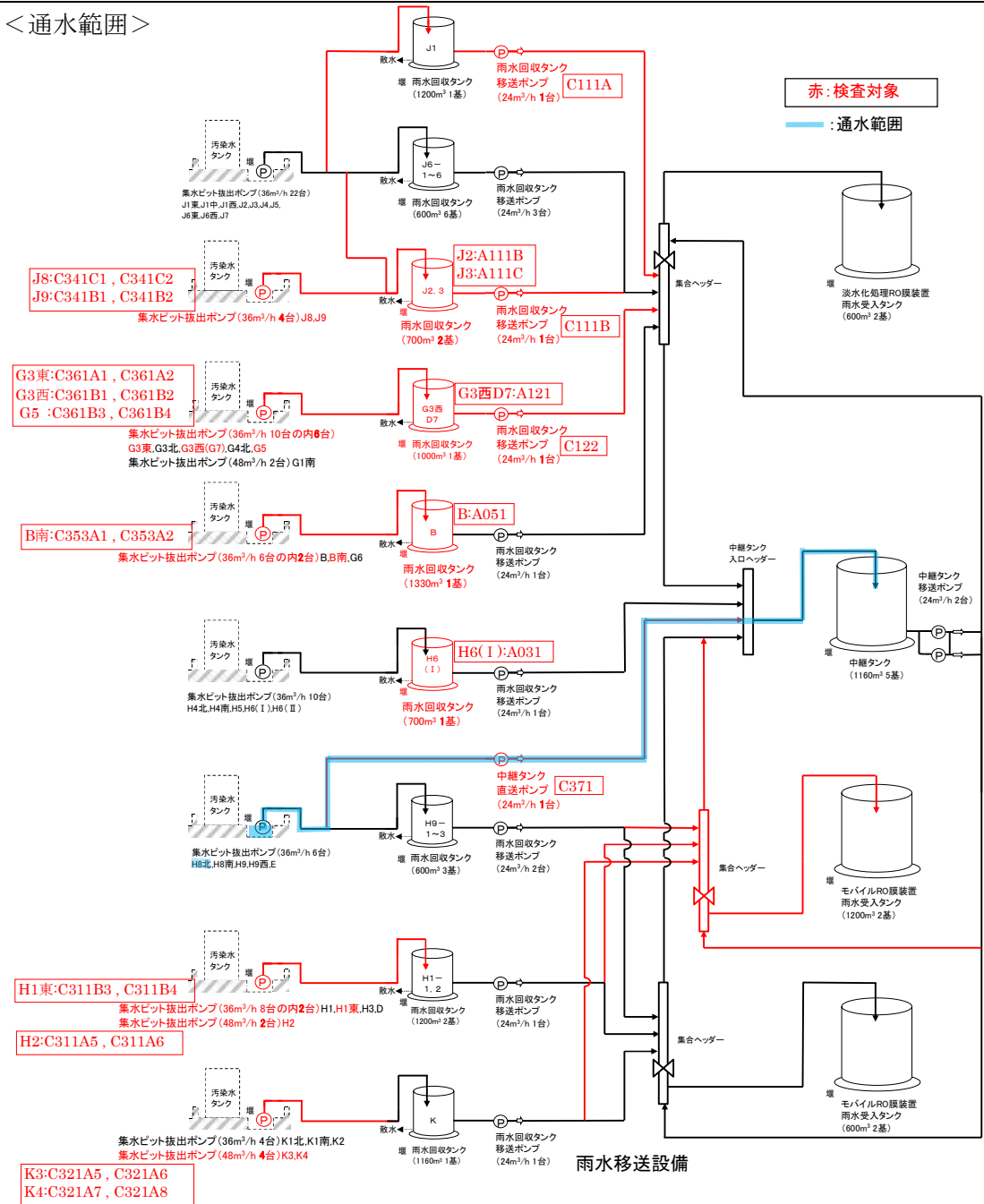
< 通水範囲 >



- (1) B南集水ピット抽出ポンプからB雨水回収タンクまでの系統構成を実施する。
- (2) B南集水ピット抽出ポンプA (C353A1)を起動する。
- (3) B雨水回収タンクへ通水でき、かつ、漏えいのないことを確認する。
- (4) B南集水ピット抽出ポンプA (C353A1)を停止する。
- (5) B南集水ピット抽出ポンプB (C353A2)を起動する。
- (6) B雨水回収タンクへ通水でき、かつ、漏えいのないことを確認する。
- (7) B南集水ピット抽出ポンプB (C353A2)を停止する。

20 H8北集水ピット抽出ポンプ→中継タンクA

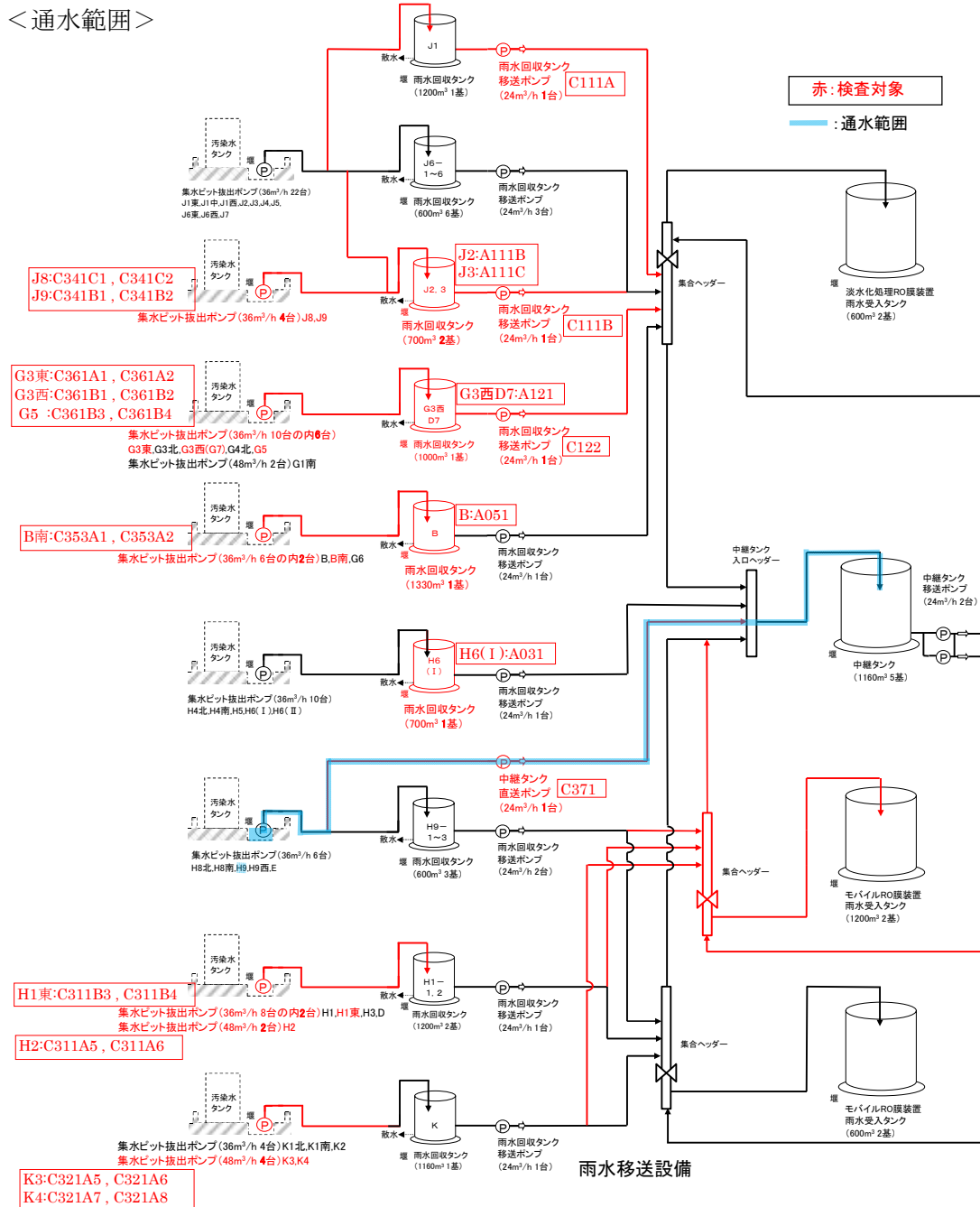
< 通水範囲 >



- (1) H8北集水ピット抽出ポンプから中継タンクAまでの系統構成を実施する。
- (2) H8北集水ピット抽出ポンプ (C301B1) を起動する。
- (3) 中継タンク直送ポンプ (C371) を起動する。
- (4) 中継タンクAへ通水でき、かつ、漏えいのないことを確認する。
- (5) 中継タンク直送ポンプ (C371) を停止する。
- (6) H8北集水ピット抽出ポンプ (C301B1) を停止する。

2 1 H 9 集水ピット抽出ポンプ→中継タンク A

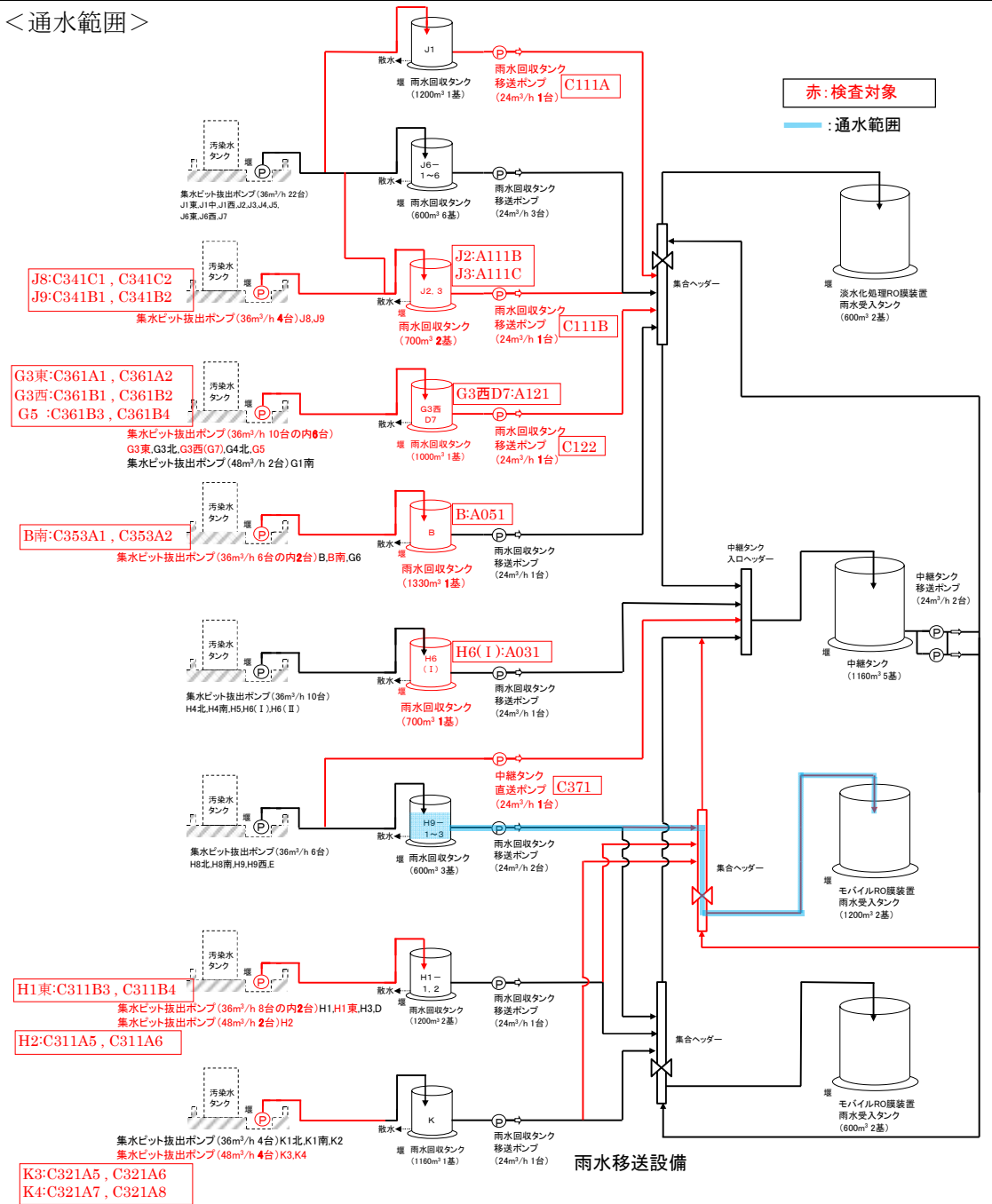
< 通水範囲 >



- | | |
|-----|---------------------------------|
| (1) | H 9 から中継タンク A までの系統構成を実施する。 |
| (2) | H 9 集水ピット抽出ポンプ (C301A1) を起動する。 |
| (3) | 中継タンク直送ポンプ (C371) を起動する。 |
| (4) | 中継タンク A へ通水でき、かつ、漏えいのないことを確認する。 |
| (5) | 中継タンク直送ポンプ (C371) を停止する。 |
| (6) | H 9 集水ピット抽出ポンプ (C301A1) を停止する。 |

23 H9-2 雨水回収タンク→モバイルRO膜装置雨水受入タンク A (1200m³)

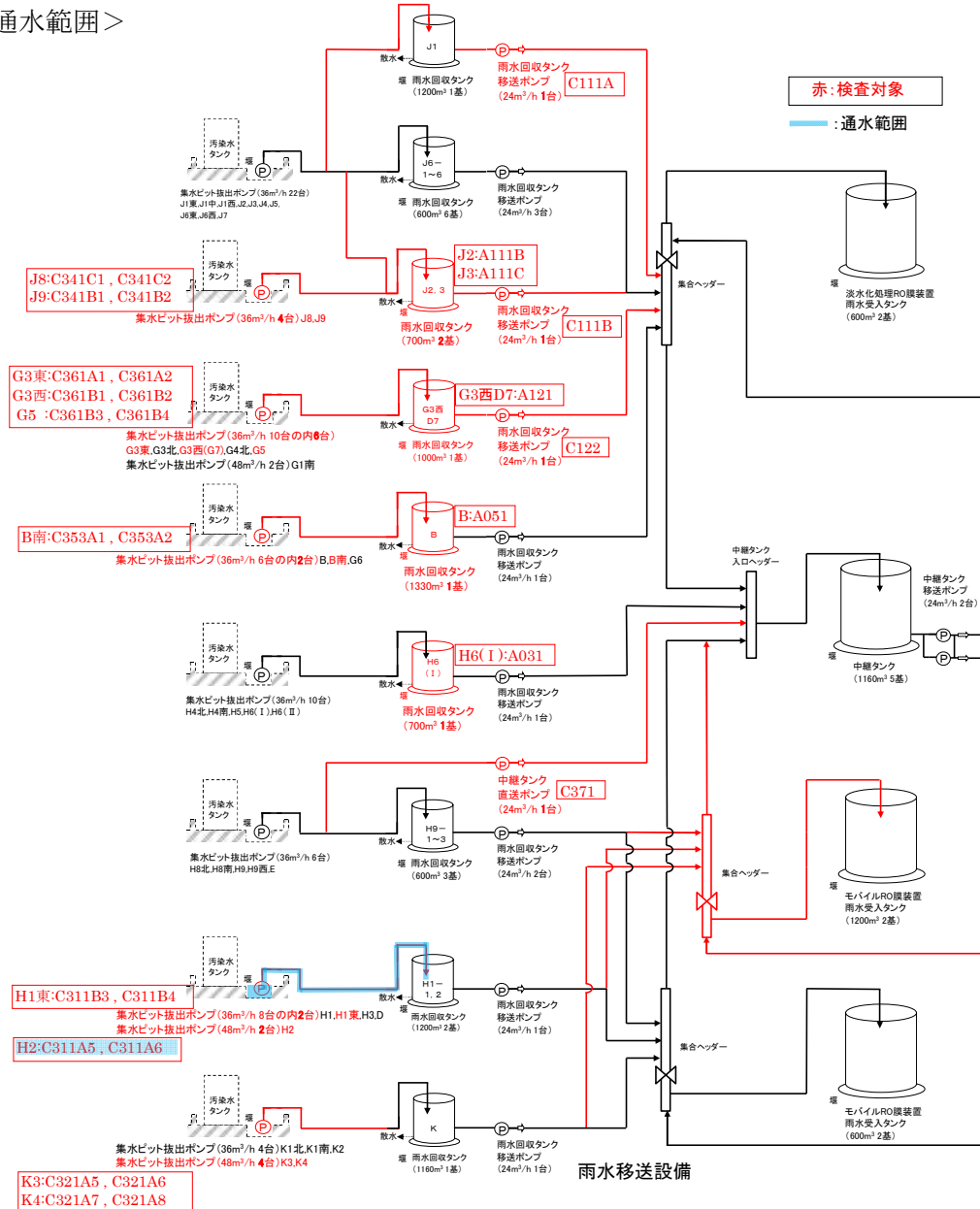
< 通水範囲 >



- (1) H9-2 雨水回収タンクからモバイルRO膜装置雨水受入タンク A (1200m³) までの系統構成を実施する。
- (2) H9 雨水回収タンク移送ポンプ B (C001B) を起動する。
- (3) モバイルRO膜装置雨水受入タンク A (1200m³) へ通水でき、かつ、漏えいのないことを確認する。
- (4) H9 雨水回収タンク移送ポンプ B (C001B) を停止する。

25 H2集水ピット拔出ポンプ→H1-1雨水回収タンク

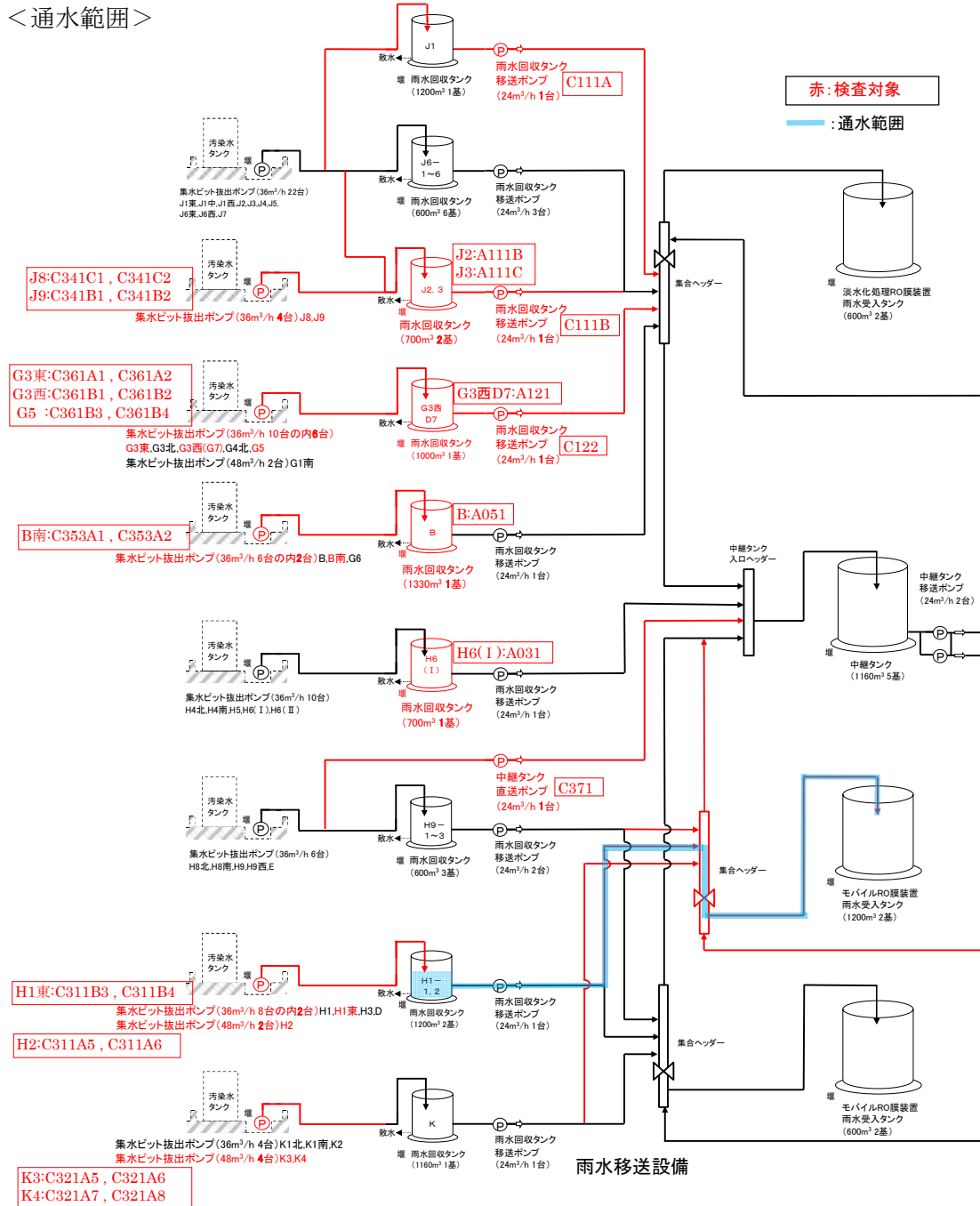
< 通水範囲 >



- (1) H2集水ピット拔出ポンプからH1-1雨水回収タンクまでの系統構成を実施する。
- (2) H2集水ピット拔出ポンプA (C311A5)を起動する。
- (3) H1-1雨水回収タンクへ通水でき、かつ、漏えいのないことを確認する。
- (4) H2集水ピット拔出ポンプA (C311A5)を停止する。
- (5) H2集水ピット拔出ポンプB (C311A6)を起動する。
- (6) H1-1雨水回収タンクへ通水でき、かつ、漏えいのないことを確認する。
- (7) H2集水ピット拔出ポンプB (C311A6)を停止する。

26 H1-1 雨水回収タンク→モバイルRO膜装置雨水受入タンク B (1200m³)

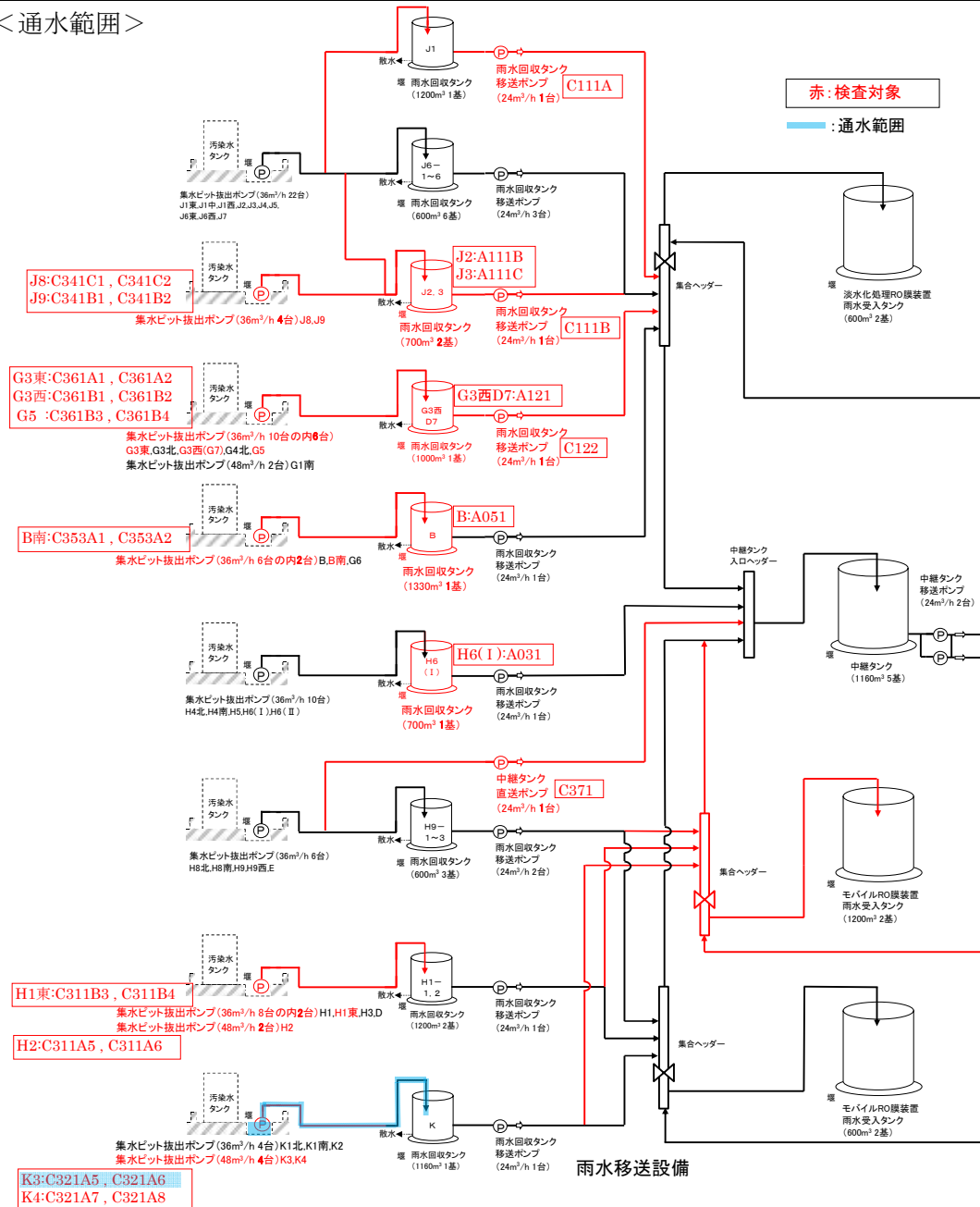
< 通水範囲 >



- (1) H1-1 雨水回収タンクからモバイルRO膜装置雨水受入タンク B (1200m³) までの系統構成を実施する。
- (2) H1 雨水回収タンク移送ポンプ(C011)を起動する。
- (3) モバイルRO膜装置雨水受入タンク B (1200m³)へ通水でき、かつ、漏えいのないことを確認する。
- (4) H1 雨水回収タンク移送ポンプ(C011)を停止する。

27 K3集水ピット抽出ポンプ→K雨水回収タンク

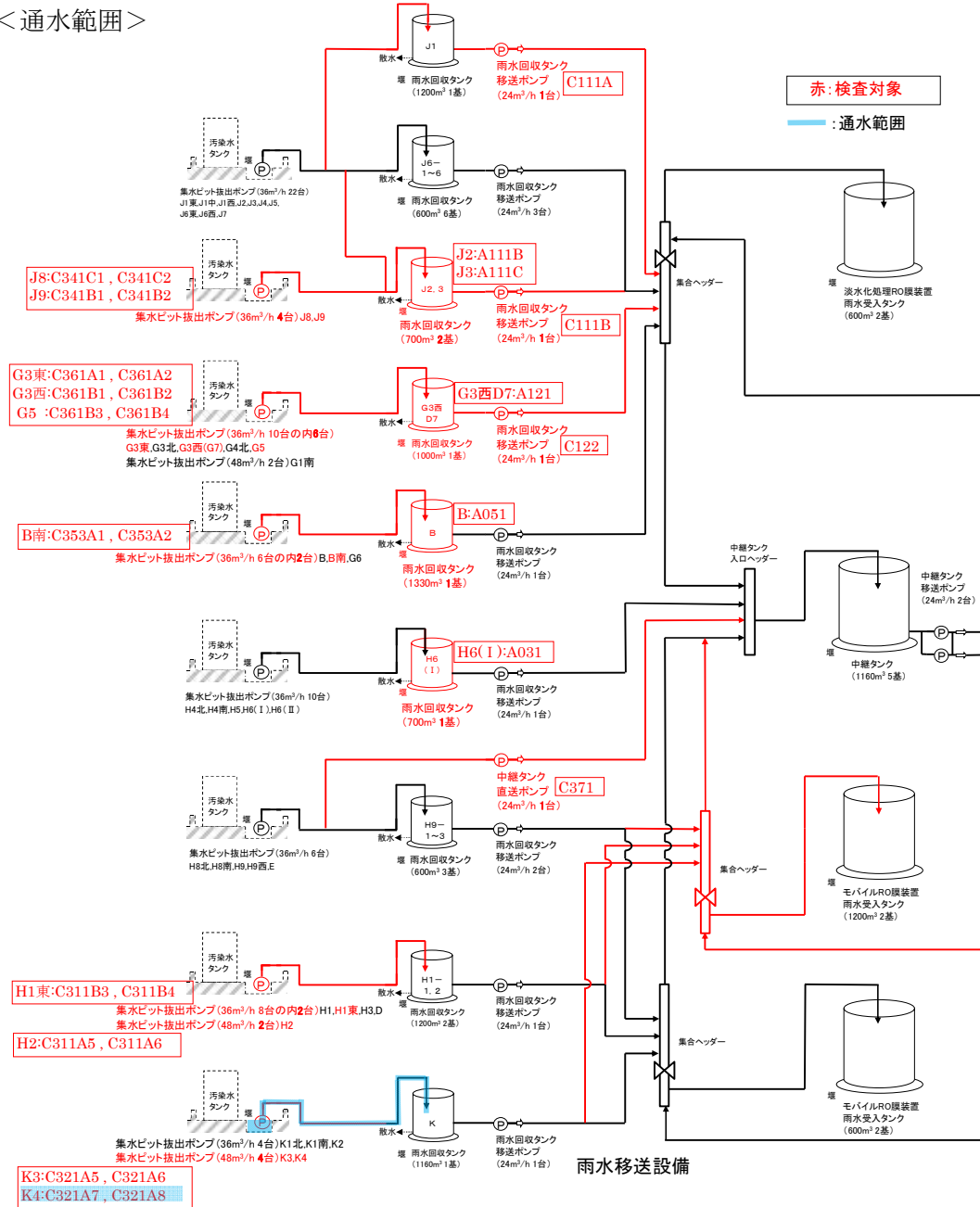
< 通水範囲 >



- (1) K3集水ピット抽出ポンプからK雨水回収タンクまでの系統構成を実施する。
- (2) K3集水ピット抽出ポンプA (C321A5) を起動する。
- (3) K雨水回収タンクへ通水でき、かつ、漏えいのないことを確認する。
- (4) K3集水ピット抽出ポンプA (C321A5) を停止する。
- (5) K3集水ピット抽出ポンプB (C321A6) を起動する。
- (6) K雨水回収タンクへ通水でき、かつ、漏えいのないことを確認する。
- (7) K3集水ピット抽出ポンプB (C321A6) を停止する。

28 K4集水ピット抽出ポンプ→K雨水回収タンク

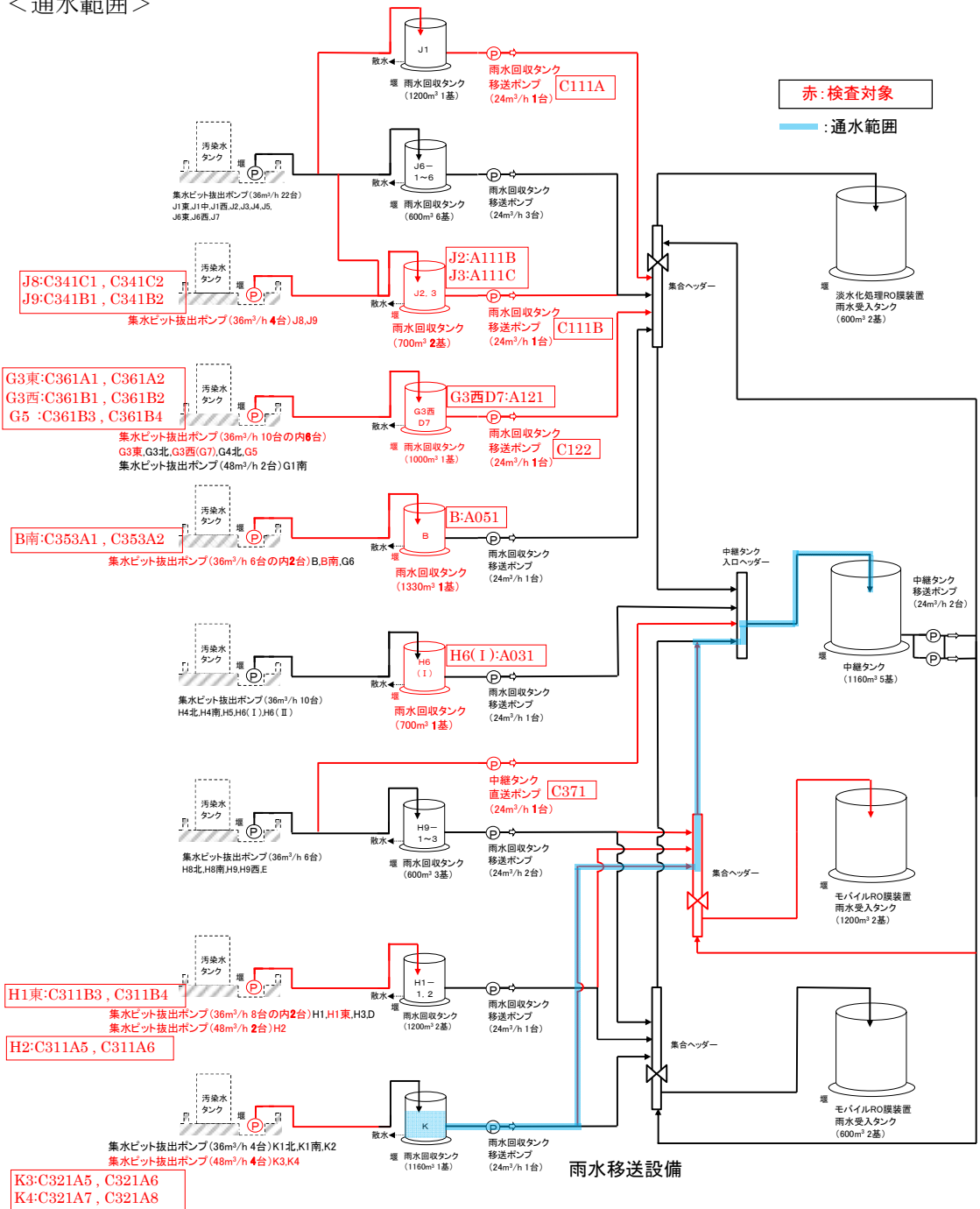
< 通水範囲 >



- (1) K4集水ピット抽出ポンプからK雨水回収タンクまでの系統構成を実施する。
- (2) K4集水ピット抽出ポンプA (C321A7) を起動する。
- (3) K雨水回収タンクへ通水でき、かつ、漏えいのないことを確認する。
- (4) K4集水ピット抽出ポンプA (C321A7) を停止する。
- (5) K4集水ピット抽出ポンプB (C321A8) を起動する。
- (6) K雨水回収タンクへ通水でき、かつ、漏えいのないことを確認する。
- (7) K4集水ピット抽出ポンプB (C321A8) を停止する。

2 9 K 雨水回収タンク→中継タンク A

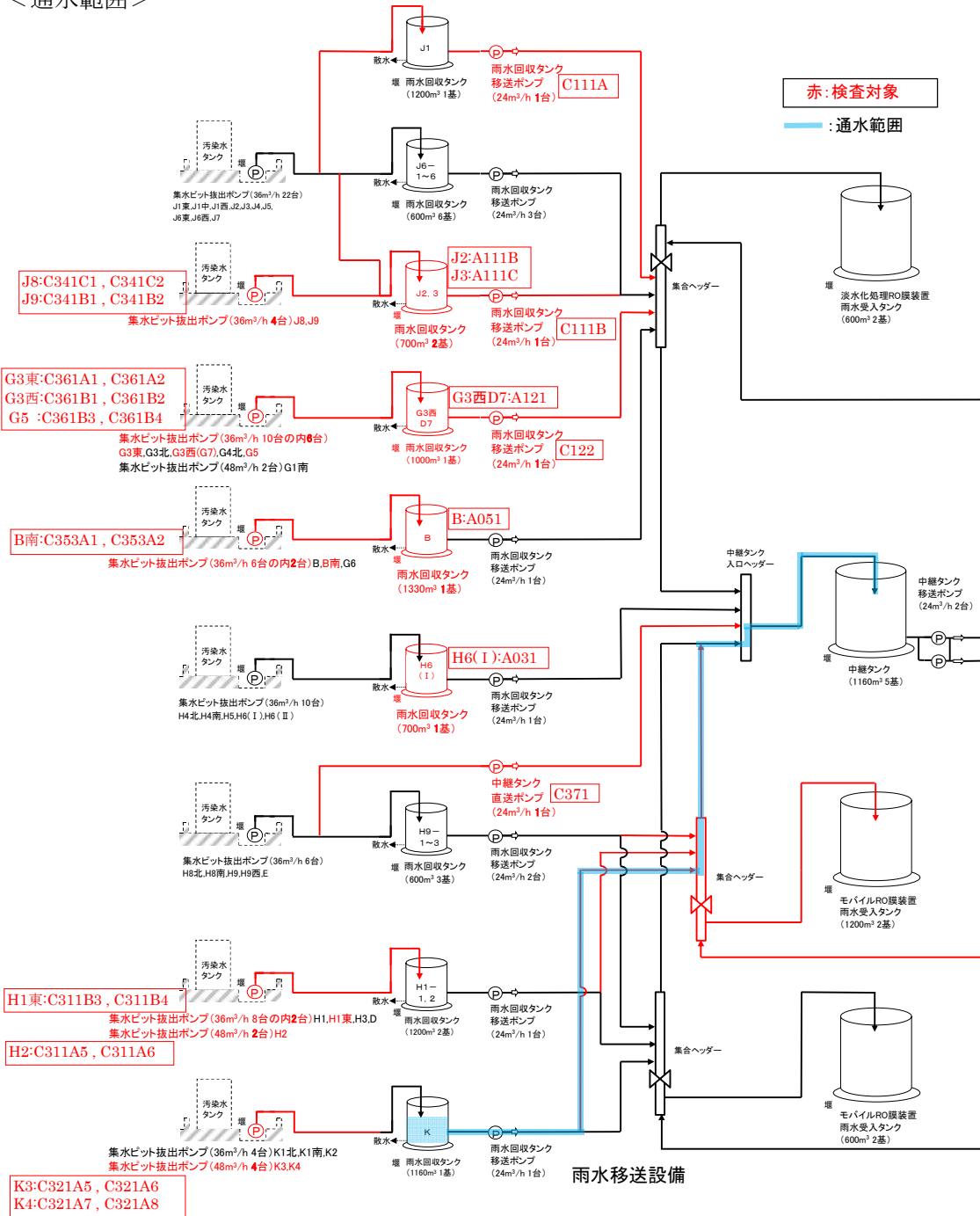
< 通水範囲 >



- (1) K 雨水回収タンクから中継タンク A までの系統構成を実施する。
- (2) K 雨水回収タンク移送ポンプ (C021) を起動する。
- (3) 中継タンク A へ通水でき、かつ、漏えいのないことを確認する。
- (4) K 雨水回収タンク移送ポンプ (C021) を停止する。

30 K雨水回収タンク→中継タンクE

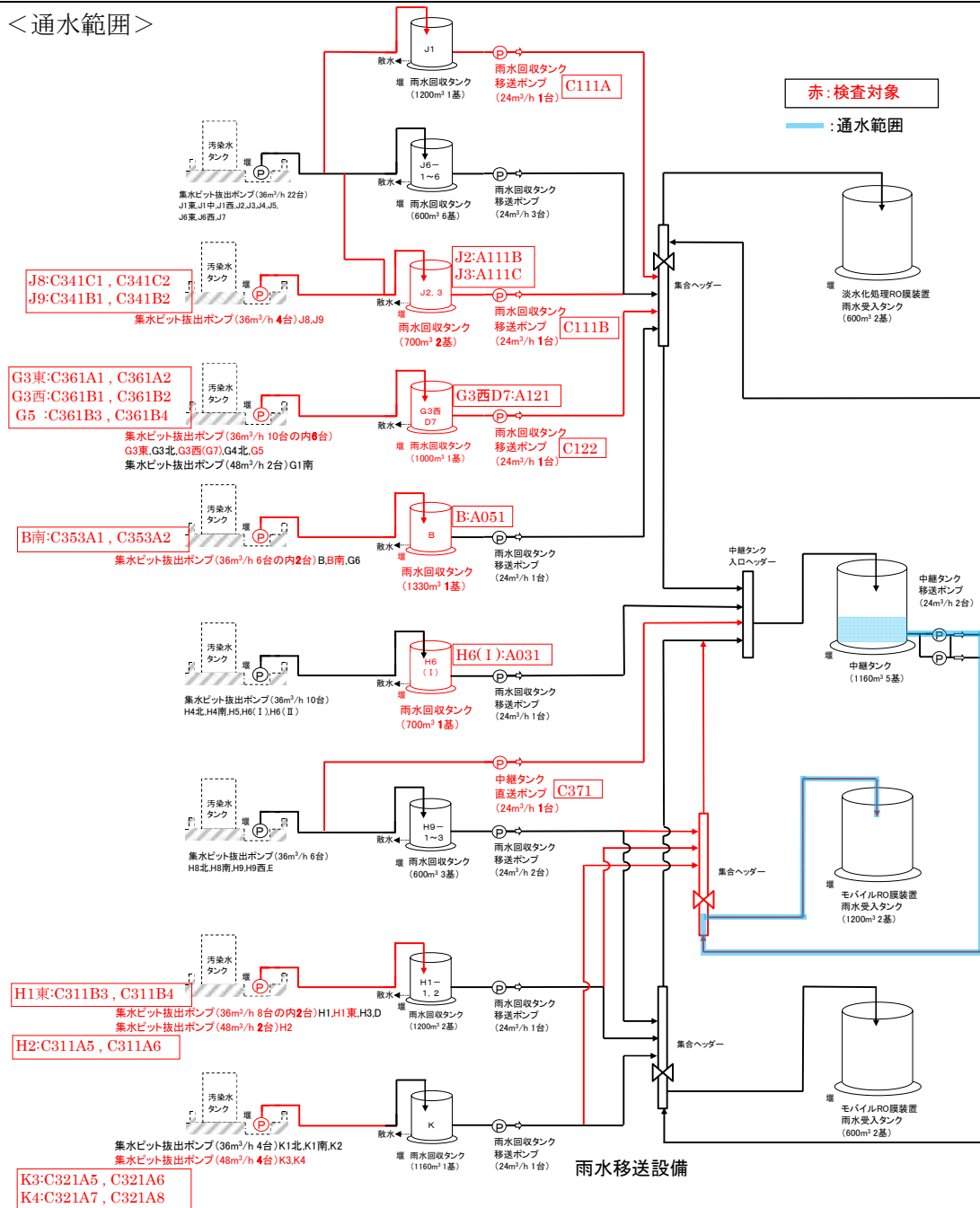
< 通水範囲 >



- (1) K雨水回収タンクから中継タンクEまでの系統構成を実施する。
- (2) K雨水回収タンク移送ポンプ(C021)を起動する。
- (3) 中継タンクEへ通水でき、かつ、漏えいのないことを確認する。
- (4) K雨水回収タンク移送ポンプ(C021)を停止する。

3 1 中継タンク A→モバイルRO膜装置雨水受入タンク A (1200m³)

< 通水範囲 >



- | | |
|-----|--|
| (1) | 中継タンク A からモバイルRO膜装置雨水受入タンク A (1200m ³) までの系統構成を実施する。 |
| (2) | 中継タンク移送ポンプ A (C151A) を起動する。 |
| (3) | モバイルRO膜装置雨水受入タンク A (1200m ³) へ通水でき、かつ、漏えいのないことを確認する。 |
| (4) | 中継タンク移送ポンプ A (C151A) を停止する。 |